

データフローコントローラ DXシリーズ Web UI

操作マニュアル

形DX100-0010

CPUユニット



SBSB-539A

おことわり

- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- 本マニュアルの内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本マニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お手数ですが、弊社支店または営業所までご連絡ください。その際、巻末記載のMan.No. (マニュアルNo.) も併せてお知らせください。

商標

- Microsoft, Windows, Excel, Visual Basic, Microsoft Edge は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ODVA, CIP, CompoNet, DeviceNet, EtherNet/IP はODVA の商標です。
 - SpeedBee Synapseは株式会社ソルティスターの商標です。
 - GrafanaはGrafana Labsの商標です。
- その他、本文中に掲載している会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

著作権

- スクリーンショットはマイクロソフトの許諾を得て使用しています。
- 本製品にはサードパーティ製のソフトウェアが組み込まれています。このソフトウェアに関連するライセンスと著作権については、<https://www.fa.omron.co.jp/product/tool/dx-info/index.html> をご覧ください。

データフローコントローラ DXシリーズ Web UI 操作マ ニュアル

None

OMRON Corporation

Copyright © OMRON Corporation 2025 All Rights Reserved.

Table of contents

1. はじめに	3
1.1 対象読者	3
1.2 安全上の注意	3
2. 初期設定手順	4
2.1 初回ログイン	4
2.2 初期設定	4
3. 各種機能説明	9
3.1 各種機能説明	9
3.2 Web UI機能の全体像	10
3.3 モード設定	14
3.4 モニタリング	16
3.5 アプリケーション管理	20
3.6 ユーティリティ管理	22
3.7 アカウント管理	55
3.8 システム設定	70
3.9 システム情報	98
3.10 シャットダウン管理	101
3.11 REST API	103
4. セキュア利用ガイド	108
4.1 ユーザーの管理	108
4.2 トークンの厳重管理	108
5. 付録	109

1. はじめに

本マニュアルは、「データフローコントローラ」のWeb UI操作方法について記載したものです。
データフローコントローラを活用することで、製造現場設備のデータ収集、他システム連携が可能となります。

1.1 対象読者

本マニュアルは、次の方を対象に記述しています。

- 本コントローラを管理される方
- 本コントローラをを実際に設定、運用される方

1.2 安全上の注意

下記の機能について、本コントローラのネットワーク設定情報、システム情報などを変更することが可能なため、変更結果によっては搭載されたアプリケーション及び接続された設備の挙動へ影響を与える可能性があります。

これらの機能を使用する際は、設備影響など十分に考慮および検証したうえで、使用してください。

2. 初期設定手順

本章では、データフローコントローラを導入するための初期設定手順を説明します。

2.1 初回ログイン

DFCadminは、データフローコントローラにデフォルトで登録されているユーザーです。 DFCadminユーザーのデフォルトの設定値は、以下の通りです。

項目	説明
ログインID	DFCadmin
権限	Administrator
パスワード	omron

1. ログイン画面で、idに「DFCadmin」 passwordに「omron」と入力して「Login」を押下します。

Data Flow Controller

id

DFCadmin

password

.....

Login

2.2 初期設定

初回ログイン後は初期設定画面にて設定を行います。

初期設定項目は、以下の通りです。

項目	説明
アクティベート	製品のアクティベート用にアクティベーションコードの入力を行います。
初期パスワード変更	デフォルトユーザーのパスワード変更を行います。
システム時刻設定	コントローラのシステム時刻設定を行います。

Data Flow Controller 初期設定

Japan - 日本語

アクティベート

アクティベーションコード

アクティベーションコード

初期パスワード更新

新しいパスワード

新しいパスワード (再入力)

システム時刻設定

タイムゾーン

日本標準時 (UTC+09:00)

日時

年 / 月 / 日 --:--:--

現在日時を取得

☐ [利用規約](#) に同意して利用を開始する

保存

2.2.1 アクティベート

製品のアクティベートを行います。

1. アクティベート欄の「アクティベーションコード」に、アクティベーションを入力します。

アクティベート

シリアルNo

シリアルNo

2.2.2 初期パスワード変更

DFCadminユーザーのパスワードをデフォルトの設定値から変更します。

1. 初期パスワード更新欄の「新しいパスワード」と「新しいパスワード(再入力)」に、初回ログイン時とは異なる任意のパスワードを入力します。

初期パスワード更新

新しいパスワード

新しいパスワード (再入力)

2.2.3 システム時刻設定

システム時刻を設定します。

システム時刻設定

タイムゾーン *

日本標準時 (UTC+09:00)

日時 *

年 / 月 / 日 --:--:--

現在日時を取得

タイムゾーン選択

1. システム時刻設定欄の「タイムゾーン」にて任意のタイムゾーンを選択します。

システム時刻設定

タイムゾーン *

日本標準時 (UTC+09:00)

中国標準時 (UTC+08:00)

西インドネシア時間 (UTC+07:00)

バングラデシュ時間 (UTC+06:00)

インド標準時 (UTC+05:30)

パキスタン時間 (UTC+05:00)

現在日時を取得

手動時刻設定

1. 「日時」にシステム時刻を入力します。
※「現在日時を取得」ボタンを押下することで、「日時」に現在日時をセットすることができます。

システム時刻設定

タイムゾーン *

日本標準時 (UTC+09:00)

日時 *

年 / 月 / 日 --:--:--

現在日時を取得

2.2.4 初期設定保存

1. 「利用規約」をご確認の上、「利用規約に同意して利用を開始する」チェックボックスをオンにします。
2. 「保存」ボタンを押下します。

Data Flow Controller 初期設定 Japan - 日本語

アクティベート

アクティベーションコード

初期パスワード更新

新しいパスワード

新しいパスワード (再入力)

システム時刻設定

タイムゾーン

日時

☒ 利用規約 に同意して利用を開始する

3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

確認

初期設定を保存します。
よろしいですか？

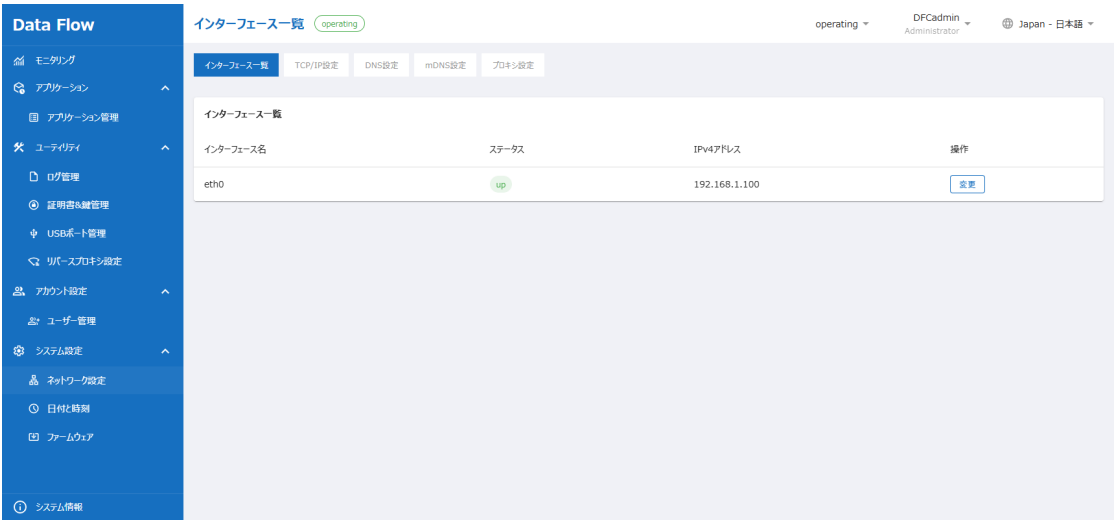
キャンセル

4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

メッセージ

初期設定が完了しました。
続いてネットワーク設定画面に遷移します。

5. ネットワーク設定画面へ遷移しますので、[ネットワーク設定](#)を参照し、当コントローラのネットワーク設定を実施してください。



 Note

初期設定完了後、当コントローラは「**setup**」モードで動作します。「**setup**」は当コントローラの設定変更を行うためのモードです。アプリケーションを動作させるためのモードではありません。

アプリケーションを動作させるためには、動作モードを「**operating**」モードに変更する必要があります。
「**operating**」モードに変更する場合は、[モード設定](#)を参照し、動作モードの変更を実施してください。

または、再起動を行うことで、次回以降「**operating**」モードで起動します。
再起動する場合は、[再起動](#)を参照し、再起動を実施してください。

3. 各種機能説明

3.1 各種機能説明

本章では、各種機能について説明します。

記載内容は次のとおりです。

1. [Web UI機能の全体像](#)
2. [モード設定](#)
3. [モニタリング](#)
4. [アプリケーション管理](#)
5. [ユーティリティ管理](#)
6. [アカウント管理](#)
7. [システム設定](#)
8. [システム情報](#)
9. [シャットダウン管理](#)
10. [REST API](#)

3.2 Web UI機能の全体像

ここでは、Web UIの全体像について説明します。

3.2.1 Web UI機能一覧

Web UIは、ユーザーが操作するデータフローコントローラの画面を提供します。

Web UIは、次の機能を提供します。

項目	説明
モード設定	データフローコントローラの動作モードを設定するために下記機能を提供します。 - 動作モードの表示 - 動作モードの設定 詳細は、「モード設定」をご覧ください。
モニタリング	データフローコントローラの負荷状況を確認することができます。 SpeedBee Synapse/Grafana/ダッシュボードジェネレータ設定の見直し、およびUSBメモリ交換時期の判断のために下記機能を提供します。 - CPU、メモリ、ネットワーク使用量の閲覧 - ストレージ使用状況の閲覧 詳細は、「モニタリング」をご覧ください。
アプリケーション管理	アプリケーションを管理するために下記機能を提供します。 - アプリケーション情報の閲覧 - アプリケーションログの閲覧 詳細は、「アプリケーション管理」をご覧ください。
ユーティリティ管理	システム運用に必要な下記機能を提供します。 - ログ閲覧 - アプリケーションのデータ保存のためのUSBメモリ管理 - セキュリティ強化のための証明書および鍵の管理と、それを用いたリバースプロキシのTLS設定 詳細は、「ユーティリティ管理」をご覧ください。
アカウント管理	ユーザーアカウントを管理するために下記機能を提供します。 - ユーザーアカウントの追加/削除 - ユーザーアカウントのロールの変更 - ユーザーアカウントのパスワードのリセット 詳細は、「アカウント管理」をご覧ください。
システム設定	システム設定では、下記機能を提供します。 - ネットワークの設定 - 時刻の設定 - ファームウェアのアップデート 詳細は、「システム設定」をご覧ください。
システム情報	データフローコントローラに関する下記情報を提供します。 - 生産情報 - システム情報 - ライセンス情報 詳細は、「システム情報」をご覧ください。
シャットダウン管理	シャットダウン管理、下記機能を提供します。 - システムシャットダウン - 再起動 詳細は、「シャットダウン管理」をご覧ください。
REST API	外部システムからデータフローコントローラを操作するために下記機能を提供します。 REST API 詳細は、「REST API」をご覧ください。

Data Flow

モニタリング

アプリケーション

ユーティリティ

アカウント設定

システム設定

システム情報

モニタリング

アプリケーション管理

ログ管理

証明書&鍵管理

USBポート管理

リバースプロキシ設定

ユーザー管理

ネットワーク設定

日付と時刻

ファームウェア

システム情報

モニタリング

operating

operating

DFCAdmin Administrator Japan - 日本語

パスワード変更

シャットダウン

再起動

ログアウト

CPU情報

CPU使用率

メモリ情報

メモリの合計量: 7.86GB

使用量: 1.93GB

空き容量: 3.59GB

キャッシュ容量: 2.07GB

メモリ使用率: 24.48%

ストレージ情報

/dev/mmcblk0 normal

/dev/mmcblk0p1

容量: 0.05GB / 0.50GB

読み込み量: 0.00MB 書き込み量: 0.00MB

/dev/mmcblk0p2

容量: 7.97GB / 28.02GB

3.3 モード設定

ここでは、モード設定について説明します。
表示項目は次の通りです。

項目	説明
モード表示	現在の動作モードを表示します。
モード設定	動作モードを設定します。



3.3.1 モード表示

当コントローラの動作モードを表示します。
表示項目については次の通りです。

項目	説明
setup	セットアップ状態です。
operating	運転状態です。アプリケーションが動作中であることを示します。



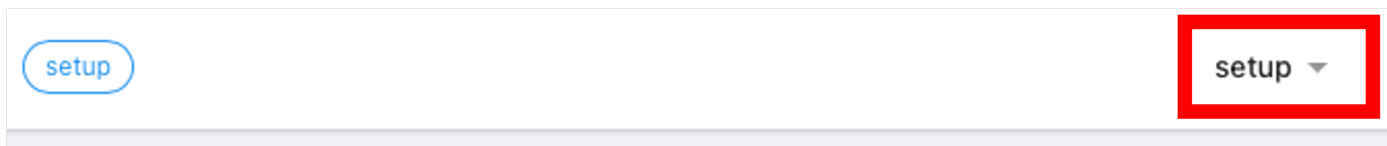
3.3.2 モード設定

当コントローラの動作モード設定を行います。

モード設定方法

次の手順で、動作モードの設定を行います。

1. ヘッダーの右部に表示されている「モード設定」ボタンを押下します。



2. リスト表示された項目より、設定したいモードを選択します。

*この例では、「setup」から「operating」へモード変更しています。



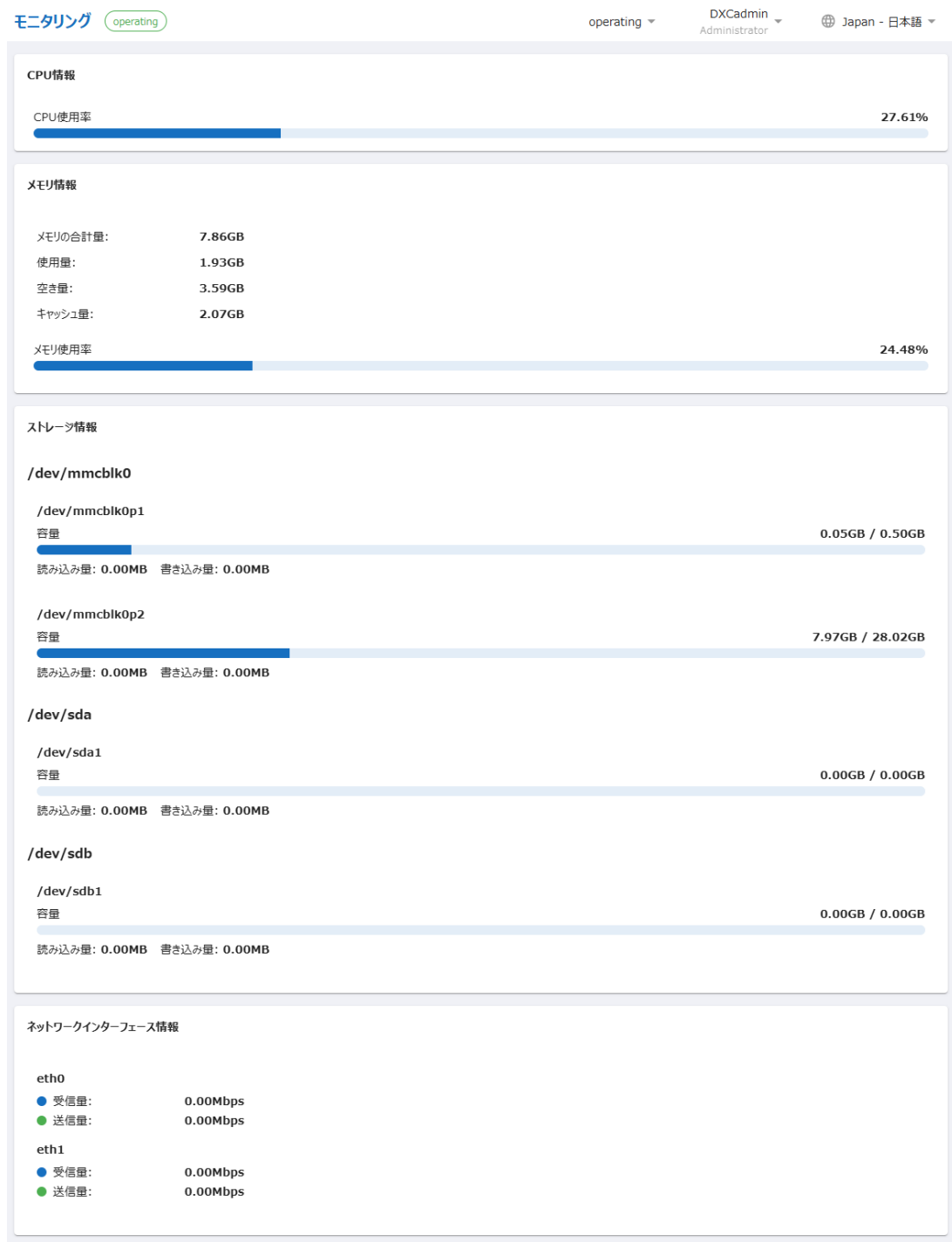
3.4 モニタリング

ここでは、モニタリングについて説明します。

5秒ごとにモニタリング項目を取得し、画面表示します。

モニタリング項目は次の通りです。

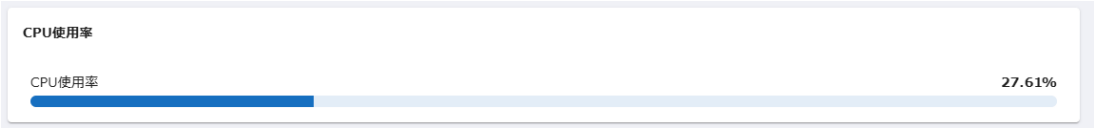
項目	説明
CPU使用率	コントローラのCPU使用状況を表示します。
メモリ使用量	コントローラのメモリ使用状況を表示します。
ストレージ	コントローラのストレージ使用状況を表示します。
ネットワーク使用量	コントローラのネットワーク使用状況を表示します。



3.4.1 CPU使用率

CPU使用率表示エリアでは以下の項目をモニタリング可能です。

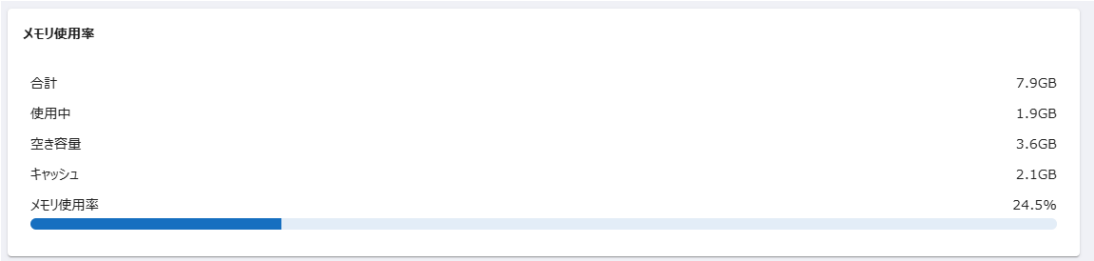
項目	説明
CPU使用率	CPU使用率をパーセンテージ表示、棒グラフにて表示します。



3.4.2 メモリ使用量

メモリ使用量表示エリアでは以下の項目をモニタリング可能です。

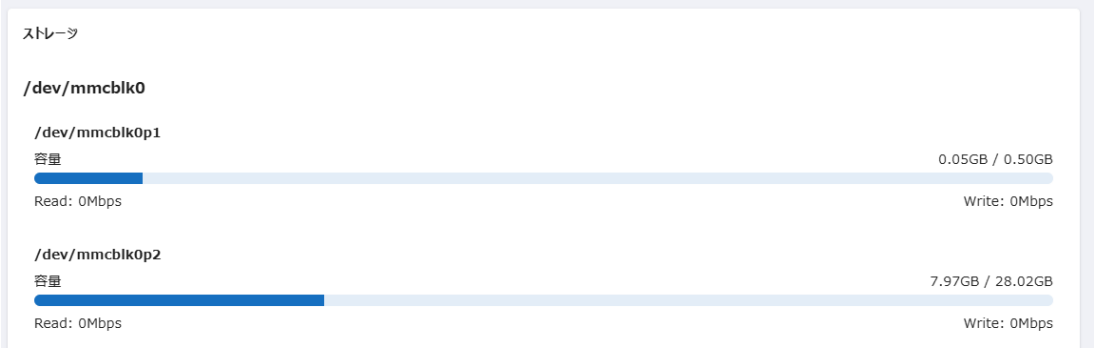
項目	説明
メモリの合計量	メモリの合計容量を表示します。
使用量	使用中のメモリ容量を表示します。
空き容量	メモリの空き容量を表示します。
キャッシュ容量	メモリのキャッシュ利用量を表示します。
メモリ使用率	メモリ使用率をパーセンテージ表示、棒グラフにて表示します。



3.4.3 ストレージ

ストレージ表示エリアではではディスク、パーティション単位で以下の項目をモニタリング可能です。

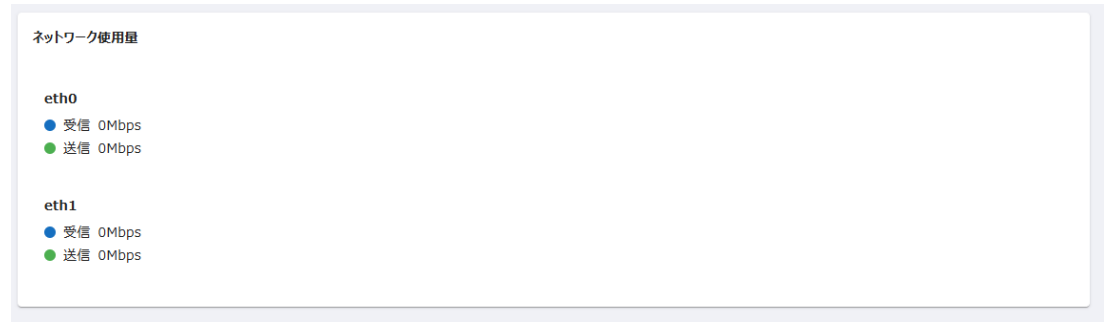
項目	説明
ヘルス情報	内部ROMのヘルス情報を表示します。
容量	対象パーティションの使用量、容量の表示、棒グラフにて容量を表示します。
読み込み速度	対象パーティションの読み込み速度を表示します。
書き込み速度	対象パーティションの書き込み速度を表示します。



3.4.4 ネットワーク使用量

ネットワーク使用量表示エリアでは物理インターフェース単位で以下の項目をモニタリング可能です。

項目	説明
受信量	対象インターフェースの受信速度を表示します。
送信量	対象インターフェースの送信速度を表示します。



3.5 アプリケーション管理

ここでは、アプリケーション管理について説明します。
表示項目は次の通りです。

項目	説明
アプリケーション一覧	コントローラに搭載されているアプリケーションを一覧表示します
ログ管理	アプリケーションログの閲覧、ダウンロードを行います。

アプリケーション管理

operating

operating

DFCadminAdministrator

Japan - 日本語

アプリケーション一覧

更新

ステータス	アプリケーション名	バージョン情報	サービス	操作
running	/dashgen	dashboard-generator:release-20250822	接続	ログの閲覧ログのダウンロード
running	/grafana	grafana-oss:11.6.2r2s	接続	ログの閲覧ログのダウンロード
running	/synapse	speedbeesynapse:4.9.4-r0r2s	接続	ログの閲覧ログのダウンロード

ログ

2025-09-10T06:57:59.972836840Z INFO: Started server process [1]
2025-09-10T06:57:59.977550760Z INFO: Waiting for application startup.
2025-09-10T06:57:59.989067080Z resources sub directory created
2025-09-10T06:57:59.992192280Z INFO: Application startup complete.
2025-09-10T06:58:00.003455240Z INFO: Uvicorn running on http://0.0.0.0:8000 (Press CTRL+C to quit)

3.5.1 アプリケーション一覧

当コントローラに搭載されているアプリケーションを一覧表示します。
表示項目については次の通りです。

項目	説明
更新ボタン	アプリケーション一覧を更新して再表示するための操作ボタン
ステータス	稼働状態を表示
アプリケーション名	アプリケーション名を表示
バージョン情報	バージョン情報を表示
サービス	接続リンク
操作	ログの閲覧ボタン、ログのダウンロードボタン

「接続リンク」を押下することで、当該アプリケーションに対してブラウザの新規タブを起動してアクセスが可能です。
「ログの閲覧ボタン」を押下することで、ログ表示エリアに対象のアプリケーションログを表示します。
「ログのダウンロードボタン」を押下することで、対象のアプリケーションログファイルをダウンロードします。

アプリケーション管理

operating

operating

DFCAdmin
Administrator

Japan - 日本語

アプリケーション一覧

更新

ステータス	アプリケーション名	バージョン情報	サービス	操作
running	/dashgen	dashboard-generator:release-20250822	接続	ログの閲覧 ログのダウンロード
running	/grafana	grafana-oss:11.6.2r2s	接続	ログの閲覧 ログのダウンロード
running	/synapse	speedbeesynapse:4.9.4-r0r2s	接続	ログの閲覧 ログのダウンロード

ログ

```
2025-09-10T06:57:59.972836840Z INFO: Started server process [1]
2025-09-10T06:57:59.977550760Z INFO: Waiting for application startup.
2025-09-10T06:57:59.989067080Z resources sub directory created
2025-09-10T06:57:59.992192280Z INFO: Application startup complete.
2025-09-10T06:58:00.003455240Z INFO: Uvicorn running on http://0.0.0.0:8000 (Press CTRL+C to quit)
```

3.5.2 ログ管理

アプリケーション一覧で選択されたアプリケーションのログを表示します。

項目	説明
ログ表示エリア	アプリケーションログの内容を表示

アプリケーション管理

operating

operating

DFCAdmin
Administrator

Japan - 日本語

アプリケーション一覧

更新

ステータス	アプリケーション名	バージョン情報	サービス	操作
running	/dashgen	dashboard-generator:release-20250822	接続	ログの閲覧 ログのダウンロード
running	/grafana	grafana-oss:11.6.2r2s	接続	ログの閲覧 ログのダウンロード
running	/synapse	speedbeesynapse:4.9.4-r0r2s	接続	ログの閲覧 ログのダウンロード

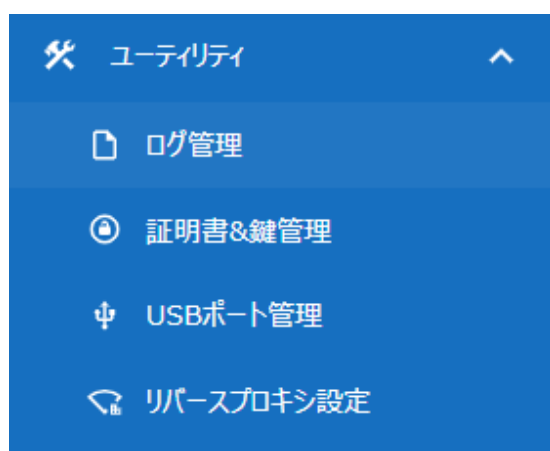
ログ

```
2025-09-10T06:57:59.972836840Z INFO: Started server process [1]
2025-09-10T06:57:59.977550760Z INFO: Waiting for application startup.
2025-09-10T06:57:59.989067080Z resources sub directory created
2025-09-10T06:57:59.992192280Z INFO: Application startup complete.
2025-09-10T06:58:00.003455240Z INFO: Uvicorn running on http://0.0.0.0:8000 (Press CTRL+C to quit)
```

3.6 ユーティリティ管理

ここでは、ユーティリティ管理について説明します。
設定可能な項目は次の通りです。

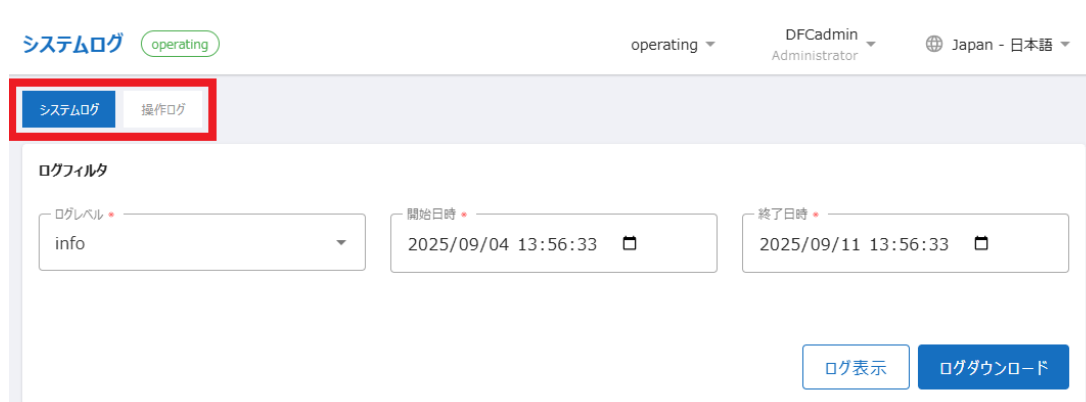
項目	説明
ログ管理	当コントローラのログ管理を行います。
証明書&鍵管理	リバースプロキシ用の証明書、秘密鍵の管理を行います。
USBポート設定	当コントローラのUSBポート管理を行います。
リバースプロキシ設定	当コントローラのリバースプロキシのTLS設定を行います。



3.6.1 ログ管理

当コントローラのログ管理を行います。対象の管理ログは次の通りです。

項目	説明
システムログ	システムログの取得を行います。
操作ログ	操作ログの取得を行います。



システムログ

システムログ管理を行います。 ログ設定項目については次の通りです。

項目	説明
ログフィルタ	システムログ取得のためのフィルタリングを行います。取得したログの閲覧、ダウンロードを行います。
ログ表示エリア	システムログ閲覧のための表示エリアです。

システムログ

operating

operating

DFCadminAdministrator

Japan - 日本語

システムログ

操作ログ

ログフィルタ

ログレベル

info

開始日時

2025/09/04 13:56:33

終了日時

2025/09/11 13:56:33

ログ表示

ログダウンロード

ログ

2025-09-10T15:57:22.995770+09:00 dx1 kernel: Booting Linux on physical CPU 0x000000000 [0x410fd034]

2025-09-10T15:57:22.995971+09:00 dx1 kernel: Machine model: LS1043A RDB Board

2025-09-10T15:57:22.995977+09:00 dx1 kernel: earlycon: uart8250 at MMIO 0x00000000021c0500 (options '')

2025-09-10T15:57:22.995982+09:00 dx1 kernel: printk: bootconsole [uart8250] enabled

2025-09-10T15:57:22.995986+09:00 dx1 kernel: efi: UEFI not found.

2025-09-10T15:57:22.995991+09:00 dx1 kernel: Reserved memory: created DMA memory pool at 0x00000008ffc00000, size 4 MiB

2025-09-10T15:57:22.996001+09:00 dx1 kernel: OF: reserved mem: initialized node qman-fqd, compatible id shared-dma-pool

2025-09-10T15:57:22.996006+09:00 dx1 kernel: Reserved memory: created DMA memory pool at 0x00000008fc000000, size 32 MiB

2025-09-10T15:57:22.996010+09:00 dx1 kernel: OF: reserved mem: initialized node qman-pfdr, compatible id shared-dma-pool

2025-09-10T15:57:22.996015+09:00 dx1 kernel: Reserved memory: created DMA memory pool at 0x00000008fe000000, size 16 MiB

2025-09-10T15:57:22.996019+09:00 dx1 kernel: OF: reserved mem: initialized node bman-fbpr, compatible id shared-dma-pool

2025-09-10T15:57:22.996024+09:00 dx1 kernel: NUMA: No NUMA configuration found

2025-09-10T15:57:22.996033+09:00 dx1 kernel: NUMA: Faking a node at [mem 0x0000000080000000-0x00000008fffffff]

2025-09-10T15:57:22.996038+09:00 dx1 kernel: NUMA: NODE_DATA [mem 0x8ff40a0c0-0x8ff40bfff]

ログフィルタ

システムログ取得のためのフィルタリングを行います。 設定項目は次の通りです。

項目	説明
ログレベル	取得したいログファイルのログレベル選択用プルダウン
開始日時	取得したいログファイルのFrom日付
終了日時	取得したいログファイルのTo日付
ログの閲覧ボタン	ログ表示エリアに対象ログを表示するための操作ボタン
ログのダウンロードボタン	ログファイルをダウンロードするための操作ボタン

ログフィルタ

ログレベル ▼
info

開始日時 ▼
2025/09/04 13:56:33

終了日時 ▼
2025/09/11 13:56:33

ログ表示 ログダウンロード

ログの閲覧

次の手順で、システムログの閲覧ができます。

1. ログレベル、開始日時、終了日時を全て入力します。
入力の完了後は「ログの閲覧」ボタンを押下します。

ログフィルタ

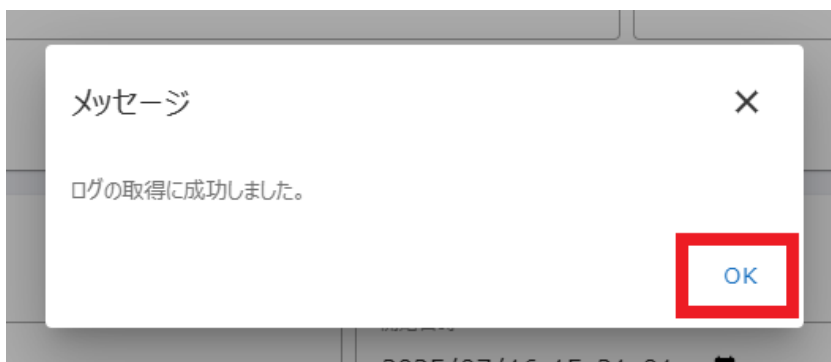
ログレベル ▼
info

開始日時 ▼
2025/09/04 13:56:33

終了日時 ▼
2025/09/11 13:56:33

ログ表示 ログダウンロード

2. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. 「ログ表示」エリアでログファイルの内容を確認します。

ログ

```

2025-09-10T15:57:22.995770+09:00 dx1 kernel: Booting Linux on physical CPU 0x000000000 [0x410fd034]
2025-09-10T15:57:22.995971+09:00 dx1 kernel: Machine model: LS1043A RDB Board
2025-09-10T15:57:22.995977+09:00 dx1 kernel: earlycon: uart8250 at MMIO 0x00000000021c0500 (options '')
2025-09-10T15:57:22.995982+09:00 dx1 kernel: printk: bootconsole [uart8250] enabled
2025-09-10T15:57:22.995986+09:00 dx1 kernel: efi: UEFI not found.
2025-09-10T15:57:22.995991+09:00 dx1 kernel: Reserved memory: created DMA memory pool at 0x000000008ffc0000, size 4 MiB
2025-09-10T15:57:22.996001+09:00 dx1 kernel: OF: reserved mem: initialized node qman-fqd, compatible id shared-dma-pool
2025-09-10T15:57:22.996006+09:00 dx1 kernel: Reserved memory: created DMA memory pool at 0x000000008fc00000, size 32 MiB
2025-09-10T15:57:22.996010+09:00 dx1 kernel: OF: reserved mem: initialized node qman-pfdr, compatible id shared-dma-pool
2025-09-10T15:57:22.996015+09:00 dx1 kernel: Reserved memory: created DMA memory pool at 0x000000008fe00000, size 16 MiB
2025-09-10T15:57:22.996019+09:00 dx1 kernel: OF: reserved mem: initialized node bman-fbpr, compatible id shared-dma-pool
2025-09-10T15:57:22.996024+09:00 dx1 kernel: NUMA: No NUMA configuration found
2025-09-10T15:57:22.996033+09:00 dx1 kernel: NUMA: Faking a node at [mem 0x0000000080000000-0x000000008fffffff]
2025-09-10T15:57:22.996038+09:00 dx1 kernel: NUMA: NODE_DATA [mem 0x8ff40a0c0-0x8ff40bfff]
  
```

ログのダウンロード

次の手順で、システムログのダウンロードができます。

- 1. ログレベル、開始日時、終了日時を全て入力します。
入力の完了後は「ログのダウンロード」ボタンを押下します。

ログフィルタ

ログレベル *

2025/09/04 13:56:33 *

2025/09/11 13:56:33 *

info

2025/09/04 13:56:33

2025/09/11 13:56:33

ログ表示

ログダウンロード

- 2. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

メッセージ

ログをダウンロードしました。
お手元のファイルをご確認ください。

OK

- 3. 対象のログファイルがダウンロードされたことを確認します。

操作ログ

操作ログ管理を行います。
ログ設定項目については次の通りです。

項目	説明
ログフィルタ	操作ログ取得のためのフィルタリングを行います。取得したログの閲覧、ダウンロードを行います。
ログ表示エリア	操作ログ閲覧のための表示エリアです。

操作ログ

operating

operating

DFCadmin
Administrator

Japan - 日本語

システムログ

操作ログ

ログフィルタ

開始日時

2025/09/03 20:02:30

終了日時

2025/09/10 20:02:30

ログの閲覧

ログのダウンロード

ログ

```
Sending request params: fwGetStatus, DXCadmin, {}  
Sending request params: logWriteAuditLog, DXCadmin, {"logStrings":"2025-07-31 10:31:07.536 [INFO] GET /api/v1/fwGetStatus/polling - 200 - 2ms - User: DXCadmin -  
{\"userId\":\"DXCadmin\",\"method\":\"GET\",\"path\":\"/api/v1/fwGetStatus/polling\",\"statusCode\":200,\"duration\":2,\"ip\":\"unknown  
\",\"userAgent\":\"Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; Win64; x64) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/138.0.0.0  
Safari/537.36\",\"responseBody\":{\"success\":true,\"data\":  
{\"state\":\"operating\",\"abnormalState\":\"noError\",\"activated\":true,\"restartRequired\":false,\"usbError\":false}}}\n\"}  
Sending request params: fwGetStatus, DXCadmin, {}  
Sending request params: logWriteAuditLog, DXCadmin, {"logStrings":"2025-07-31 10:31:12.526 [INFO] GET /api/v1/fwGetStatus/polling - 200  
- 2ms - User: DXCadmin -  
{\"userId\":\"DXCadmin\",\"method\":\"GET\",\"path\":\"/api/v1/fwGetStatus/polling\",\"statusCode\":200,\"duration\":2,\"ip\":\"unknown  
\",\"userAgent\":\"Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; Win64; x64) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/138.0.0.0  
Safari/537.36\",\"responseBody\":{\"success\":true,\"data\":  
{\"state\":\"operating\",\"abnormalState\":\"noError\",\"activated\":true,\"restartRequired\":false,\"usbError\":false}}}\n\"}
```

ログフィルタ

操作ログファイル取得のためのフィルタリングを行います。 設定項目は次の通りです。

項目	説明
開始日時	取得したいログファイルのFrom日付
終了日時	取得したいログファイルのTo日付
ログの閲覧ボタン	ログ表示エリアに対象ログを表示するための操作ボタン
ログのダウンロードボタン	ログファイルをダウンロードするための操作ボタン

ログフィルタ

ログレベル

info

開始日時

2025/07/16 16:16:06

終了日時

2025/07/23 16:16:06

ログの閲覧

ログのダウンロード

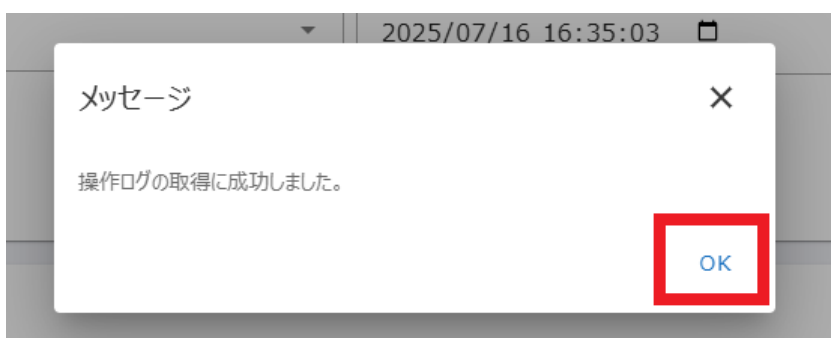
ログの閲覧

次の手順で、操作ログの閲覧ができます。

1. 開始日時、終了日時を全て入力します。

入力の完了後は「ログの閲覧」ボタンを押下します。

2. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. 「ログ表示」エリアでログファイルの内容を確認します。



ログのダウンロード

次の手順で、操作ログのダウンロードができます。

1. 開始日時、終了日時を全て入力します。
入力の完了後は「ログのダウンロード」ボタンを押下します。

ログフィルタ

ログレベル

info

開始日時

2025/07/16 16:16:06

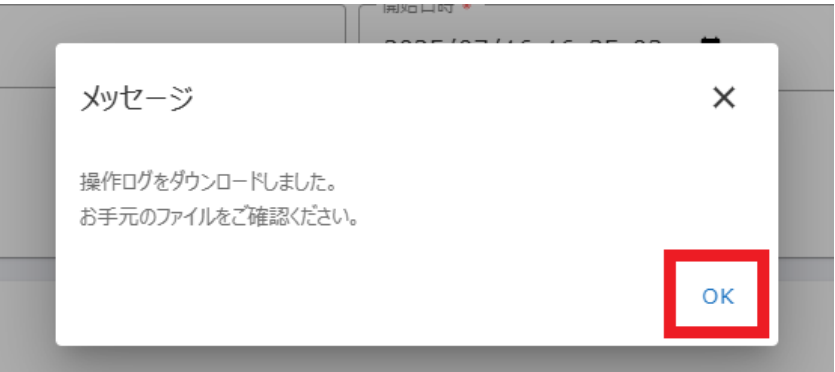
終了日時

2025/07/23 16:16:06

ログの閲覧

ログのダウンロード

2. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. 対象のログファイルがダウンロードされたことを確認します。

3.6.2 証明書&鍵管理

リバースプロキシ用の証明書、秘密鍵の管理を行います。

証明書&鍵管理

warning

setup

setup

DFCadmin Administrator

Japan - 日本語

Reverse Proxy

リバースプロキシ設定

証明書の登録

証明書

鍵

証明書名	有効/無効	作成方法	タイプ	アルゴリズムの種類	証明書の長さ	ステータス	操作
dx1-dxc.crt	無効	インポート	Public	sha512WithRSAEncryption	2057	Available	...
SSLCertificate	有効	インポート	unknown	unknown	381	active	...

証明書管理

登録済の証明書を一覧形式で表示します。
表示項目については次の通りです。

項目	説明
証明書の登録ボタン	証明書登録のための操作ボタン
証明書名	証明書名
有効/無効	証明書の有効/無効を表示
作成方法	証明書の作成種別を表示
タイプ	証明書の種別を表示
アルゴリズム	証明書のアルゴリズムを表示
鍵長	証明書鍵の長さを表示
ステータス	証明書のステータスを表示
操作	3点リーダーにて操作区分を表示。各操作区分については下表を参照

操作区分は4種類あります。
押下にて各操作を行います。

操作区分	説明
有効化	選択された証明書の有効化設定を行います。
更新	証明書の更新を行います。
ダウンロード	証明書ファイルのダウンロードを行います。
削除	証明書の削除を行います。

証明書&鍵管理

warning

setup

setup▼DFCadminAdministratorJapan - 日本語▼

Reverse Proxyリバースプロキシ設定

証明書の登録

証明書

鍵

証明書名	有効/無効	作成方法	タイプ	アルゴリズムの種類	証明書の長さ	ステータス	操作
dxc-dx1.crt	無効	インポート	Public	sha512WithRSAEncryption	2057	Available	...
SSLCertificate	有効	インポート	unknown	unknown	381	active	有効化 更新 ダウンロード 削除

証明書の登録

次の手順で、証明書を登録することができます。

1. 証明書管理画面の「証明書の登録」ボタンを押下します。



2. 表示される証明書登録ダイアログにて以下の項目を全て入力します。
入力の完了後は「OK」ボタンを押下します。

項目	説明
証明書名	証明書名を入力する項目
証明書ファイル	登録する証明書ファイルをファイルダイアログより選択する



3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



証明書の有効/無効の変更

次の手順で、証明書の有効化/無効化をすることができます。

1. 証明書一覧に表示されている証明書の「操作欄」にある3点リーダーをクリックし、「有効化」を押下します。
※この例では「無効」から「有効」へ変更します。

証明書&鍵管理 warning setup setup DFCadmin Administrator Japan - 日本語

Reverse Proxy リバースプロキシ設定

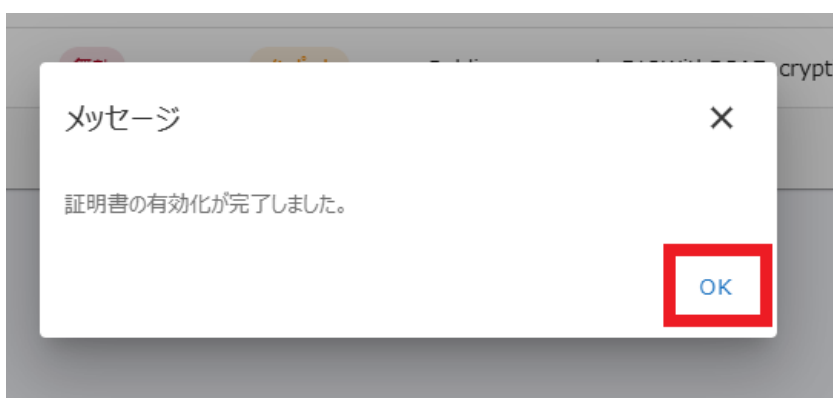
証明書の登録

証明書		鍵					
証明書名	有効/無効	作成方法	タイプ	アルゴリズムの種類	証明書の長さ	ステータス	操作
dx1-dxc.crt	無効	インポート	Public	sha512WithRSAEncryption	2057	Available	...
SSLCertificate	有効	インポート	unknown	unknown	381	active	有効化 更新 ダウンロード 削除

2. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



証明書の更新

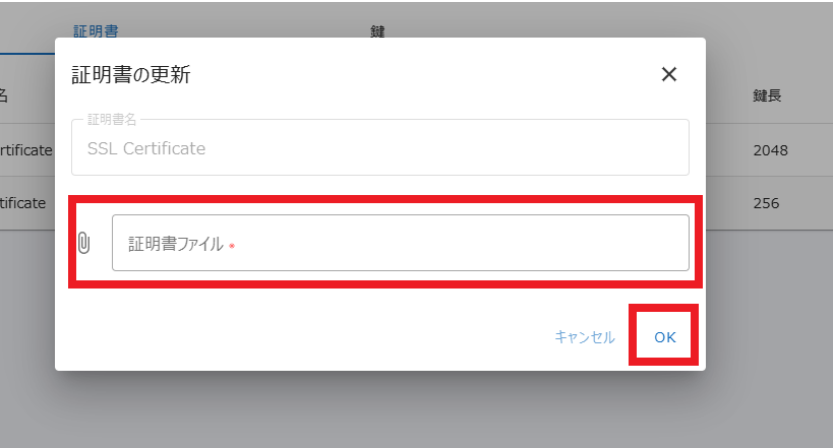
次の手順で、証明書の更新をすることができます。

1. 証明書一覧に表示されている証明書の「操作欄」にある3点リーダーをクリックし、「更新」を押下します。

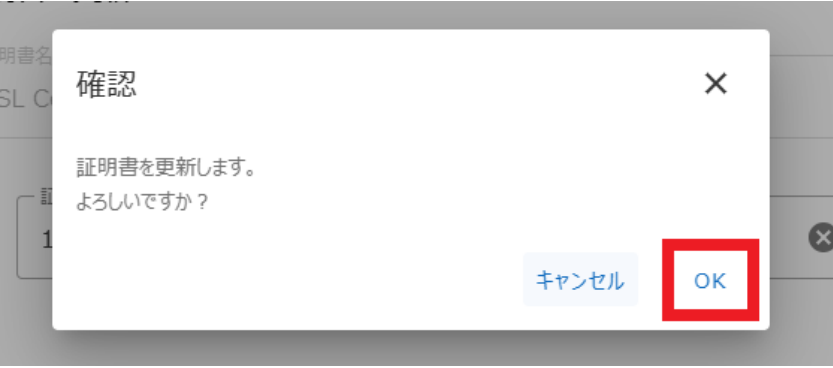


2. 表示される証明書更新ダイアログにて以下の項目を入力します。
入力の完了後は「OK」ボタンを押下します。

項目	説明
証明書ファイル	登録する証明書ファイルをファイルダイアログより選択する



3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



証明書のダウンロード

次の手順で、証明書ファイルのダウンロードをすることができます。

1. 証明書一覧に表示されている証明書の「操作欄」にある3点リーダーをクリックし、「ダウンロード」を押下します。

証明書&鍵管理 operating operating DXCadmin Administrator Japan - 日本語

Web Server [リバースプロキシ設定](#) [証明書の登録](#)

証明書		鍵					
証明書名	有効/無効	作成方法	タイプ	アルゴリズム	鍵長	ステータス	操作
SSL Certificate	有効	自己生成	X.509	RSA	2048	有効	...
CA Certificate	有効	自己生成	X.509	ECDSA	256	有効	無効化 更新 ダウンロード 削除

証明書の削除

次の手順で、証明書の削除をすることができます。

1. 証明書一覧に表示されている証明書の「操作欄」にある3点リーダーをクリックし、「削除」を押下します。



2. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



鍵管理

登録済の秘密鍵を一覧形式で表示します。
表示項目については次の通りです。

項目	説明
鍵の発行ボタン	秘密鍵発行のための操作ボタン
鍵の登録ボタン	秘密鍵登録のための操作ボタン
鍵名	秘密鍵の名前
有効/無効	秘密鍵の有効/無効を表示
作成方法	秘密鍵の作成種別を表示
タイプ	秘密鍵の種別を表示
アルゴリズム	秘密鍵のアルゴリズムを表示
鍵長	秘密鍵の長さを表示
ステータス	秘密鍵のステータスを表示
操作	3点リーダにて操作区分を表示。各操作区分については下表を参照

操作区分は4種類あります。
押下にて各操作を行います。

操作区分	説明
有効化	選択された秘密鍵の有効化設定を行います。
更新	秘密鍵の更新を行います。
ダウンロード	秘密鍵ファイルのダウンロードを行います。
削除	鍵の削除を行います。

証明書&鍵管理

warning

setup

setup ▼DFCadmin AdministratorJapan - 日本語 ▼

Reverse Proxyリバースプロキシ設定

+ 鍵の発行

↑ 鍵の登録

証明書

鍵

鍵名	有効/無効	作成方法	タイプ	アルゴリズムの種類	鍵の長さ	ステータス	操作
dx1-dxc.key	無効	インポート	Public	RSA	3272	Available	...
Privatekey001	有効	自己生成	private key	RSA	1700	active	有効化 更新 ダウンロード 削除

鍵の発行

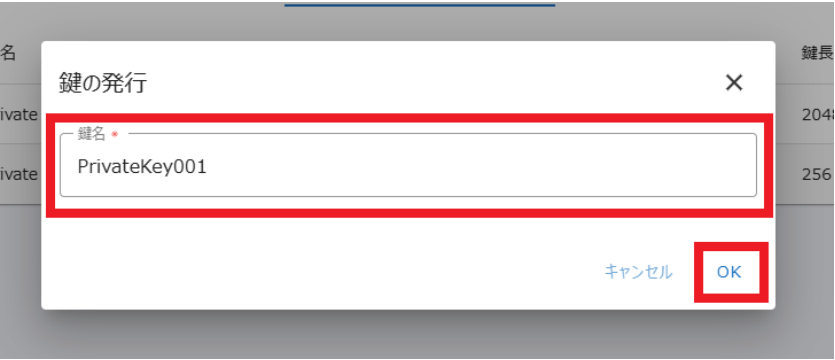
次の手順で、秘密鍵を登録することができます。

1. 証明書管理画面の「鍵の発行」ボタンを押下します。



2. 表示される鍵の発行ダイアログにて以下の項目を入力します。
入力の完了後は「OK」ボタンを押下します。

項目	説明
鍵名	秘密鍵名を入力する項目



3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



鍵の登録

次の手順で、秘密鍵を登録することができます。

1. 鍵管理画面の「鍵の登録」ボタンを押下します。



2. 表示される鍵の登録ダイアログにて以下の項目を全て入力します。
入力の完了後は「OK」ボタンを押下します。

項目	説明
鍵名	秘密鍵名を入力する項目
鍵ファイル	登録する秘密鍵ファイルをファイルダイアログより選択する



3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



鍵の有効/無効の変更

次の手順で、秘密鍵の有効化/無効化をすることができます。

1. 鍵一覧に表示されている秘密鍵の「操作欄」にある3点リーダーをクリックし、「有効化」を押下します。
※この例では「無効」から「有効」へ変更します。

証明書&鍵管理 warning setup

setup DFCAdmin Administrator Japan - 日本語

Reverse Proxy リバースプロキシ設定

+ 鍵の発行 鍵の登録

鍵名	有効/無効	作成方法	タイプ	アルゴリズムの種類	鍵の長さ	ステータス	操作
dxc-dx1.key	無効	インポート	Public	RSA	3272	Available	...
Privatekey001	有効	自己生成	private key	RSA	1700	active	有効化 更新 ダウンロード 削除

2. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

有効/無効 作成方法 タイプ アルゴリズムの種類

確認

鍵を有効化します。
よろしいですか？

キャンセル OK

3. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

メッセージ

鍵の有効化が完了しました。

OK

鍵の更新

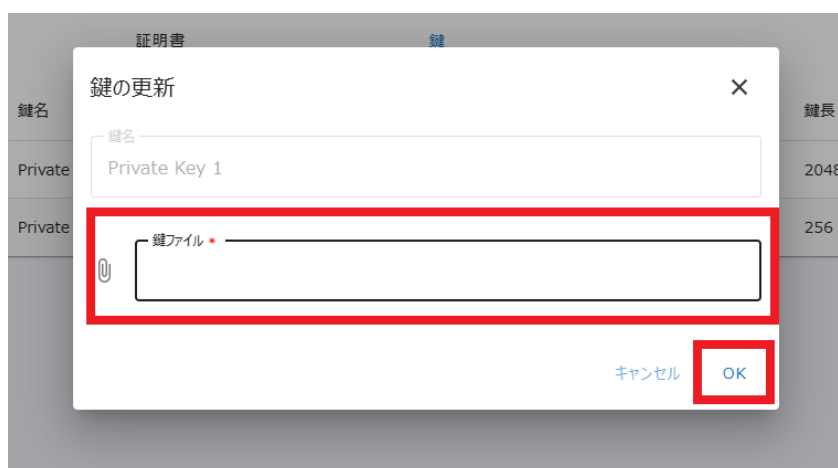
次の手順で、秘密鍵の更新をすることができます。

1. 鍵一覧に表示されている秘密鍵の「操作欄」にある3点リーダーをクリックし、「更新」を押下します。



2. 表示される秘密鍵更新ダイアログにて以下の項目を入力します。
 入力の完了後は「OK」ボタンを押下します。

項目	説明
鍵ファイル	登録する秘密鍵ファイルをファイルダイアログより選択する



3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



鍵のダウンロード

次の手順で、秘密鍵のファイルのダウンロードをすることができます。

1. 鍵一覧に表示されている秘密鍵の「操作欄」にある3点リーダーをクリックし、「ダウンロード」を押下します。

証明書&鍵管理 warning setup setup DFCAdmin Administrator Japan - 日本語

Reverse Proxy [リバースプロキシ設定](#) + 鍵の発行 ↑ 鍵の登録

証明書		鍵					
鍵名	有効/無効	作成方法	タイプ	アルゴリズムの種類	鍵の長さ	ステータス	操作
dxc-dx1.key	無効	インポート	Public	RSA	3272	Available	...
Privatekey001	有効	自己生成	private key	RSA	1700	active	有効化 更新 ダウンロード 削除

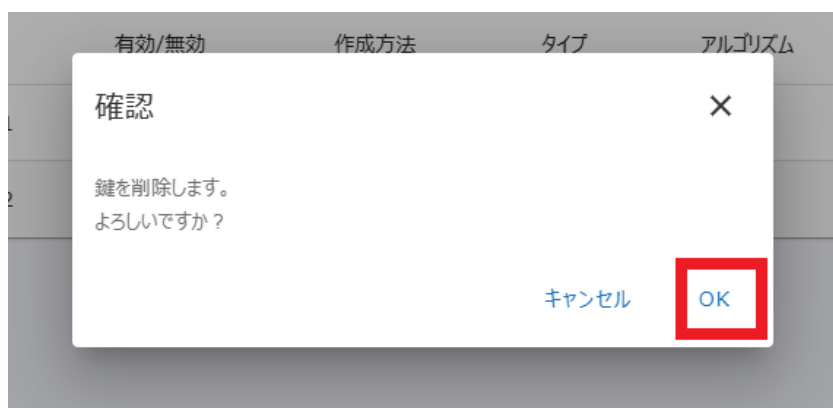
鍵の更新

次の手順で、秘密鍵の削除をすることができます。

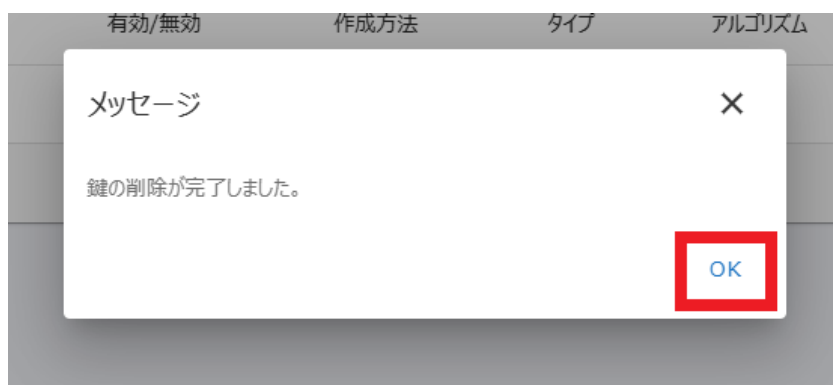
1. 鍵一覧に表示されている秘密鍵の「操作欄」にある3点リーダーをクリックし、「削除」を押下します。



2. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



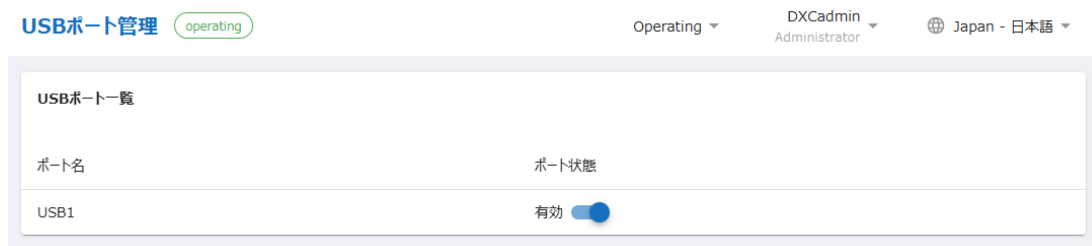
3.6.3 USBポート管理

当コントローラのUSBポート管理を行います。

USBポート一覧

当コントローラのUSBポート一覧形式で表示します。
表示項目については次の通りです。

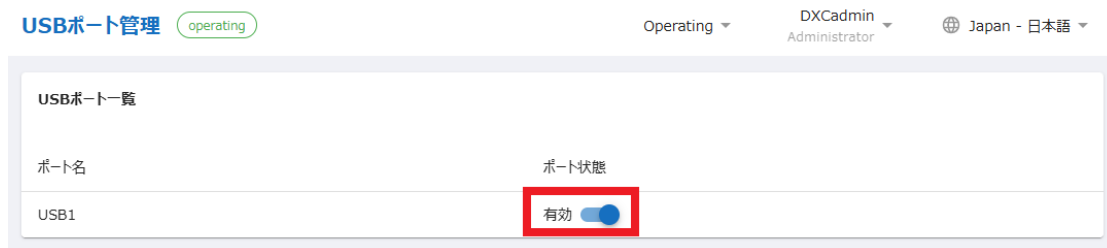
項目	説明
ポート名	USBポート名
ポート状態	対象USBポートの有効/無効制御用トグルスイッチ



USBポート状態の変更

次の手順で、「ポート状態」（有効/無効）を変更することができます。

1. USBポート一覧に表示されているポートの「ポート状態」トグルスイッチを押下します。
※この例では「有効」から「無効」へ変更します。



2. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. 「ポート状態」が変更されたことを確認します。

3.6.4 リバースプロキシ設定

当コントローラのリバースプロキシ設定を行います。

リバースプロキシ設定

operating

Operating ▼

DXCadmin
Administrator ▼

Japan - 日本語 ▼

TLS設定

[証明書&鍵管理](#)

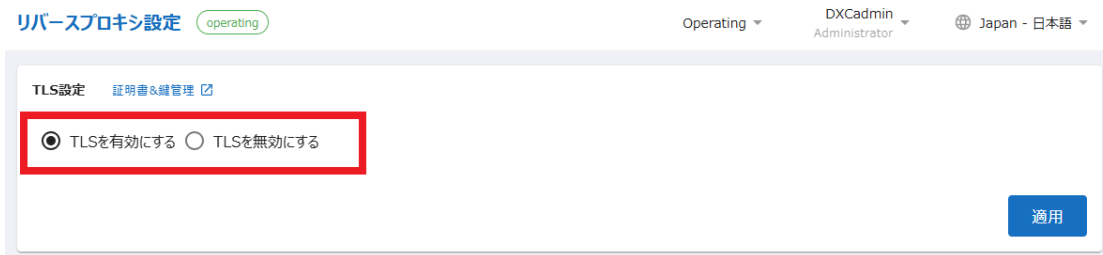
☒ TLSを有効にする ☐ TLSを無効にする

適用

TLS設定方法

次の手順で、TLSの有効/無効の設定をすることができます。

1. 「TLS有効化」ラジオボタンで「TLSを有効にする」、「TLSを無効にする」のいずれかを選択
※この例では「TLSを有効にする」を設定します。



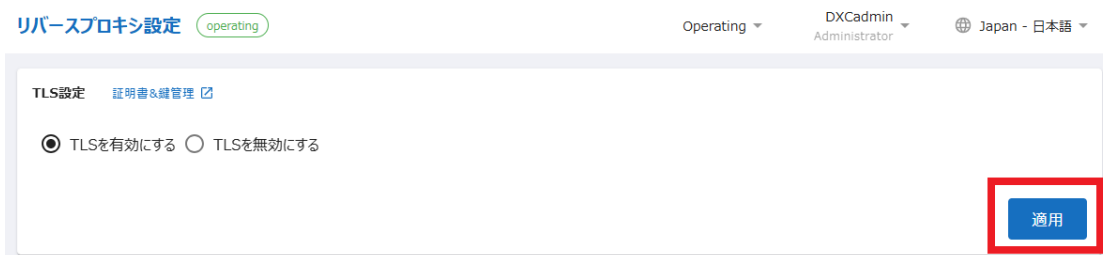
リバースプロキシ設定 operating Operating ▼ DXCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

TLS設定 [証明書&鍵管理](#)

☒ TLSを有効にする ☐ TLSを無効にする

適用

2. 「適用」を押下します。



リバースプロキシ設定 operating Operating ▼ DXCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

TLS設定 [証明書&鍵管理](#)

☒ TLSを有効にする ☐ TLSを無効にする

適用

3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



5. TLS設定が変更されたことを確認します。

リバースプロキシ設定

operating

Operating ▼

DXCadmin
Administrator ▼

Japan - 日本語 ▼

TLS設定

[証明書&鍵管理](#)

☒ TLSを有効にする ☐ TLSを無効にする

適用

3.7 アカウント管理

ここでは、アカウント管理について説明します。

3.7.1 ユーザーの一覧を閲覧

Web UI利用ユーザーを一覧形式で表示します。 表示項目については次の通りです。

項目	説明
ユーザーID	ユーザーID
権限	権限
ステータス	ユーザーの有効/無効切り替え用トグルスイッチ
最終ログイン日時	最終ログイン日時
アクセストークン	外部連携用のアクセストークン、表示制御スイッチ、コピーボタン
操作	変更ボタン、削除ボタン

ユーザー管理

operating

Operating

DXCadminAdministrator

Japan - 日本語

ユーザー一覧

現在のユーザー数: 4名 (上限100名)

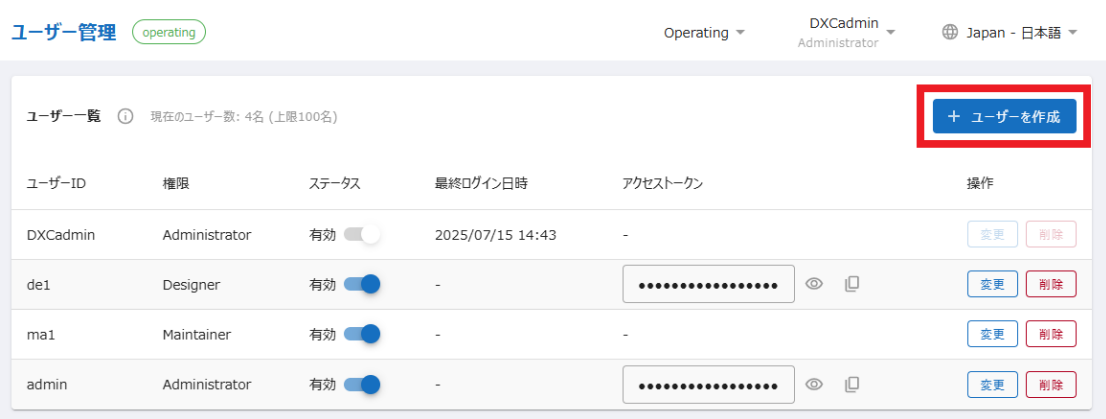
+ ユーザーを作成

ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作
DXCadmin	Administrator	有効	2025/07/15 14:43	-	変更 削除
de1	Designer	有効	-	 👁 📄	変更 削除
ma1	Maintainer	有効	-	-	変更 削除
admin	Administrator	有効	-	 👁 📄	変更 削除

3.7.2 ユーザーの追加

次の手順で、ユーザーを追加することができます。

1. ユーザー管理画面の「ユーザーを作成」ボタンを押下します。



2. 表示される新規ユーザー作成ダイアログにて以下の項目を全て入力します。

入力の完了後は「OK」ボタンを押下します。

項目	説明
ユーザーID	ログイン時に入力するIDです。
新しいパスワード	ログイン時に入力するパスワードです。
確認用パスワード	ログイン時に入力するパスワードの確認用入力項目です。
権限	下表を参照
アクセストークン	アクセストークンの作成要否を選択します。
次回ログイン時にパスワードを変更する	次回ログイン時に強制的にパスワードを変更させるための入力項目です。

ユーザーの権限は3種類あります。

権限	説明
Administrator	すべての操作が可能です。初期ユーザー"DFCadmin"に付与されており、1人以上必須です。
Designer	ユーザー管理、ファームウェア管理以外の操作が可能です。
Maintainer	モニタリング、アプリケーション管理、一部のユーティリティ管理が可能です。

新規ユーザー作成

×

ユーザーID *
SampleUser001

新しいパスワード *
●●●●●●●● 

確認用パスワード *
●●●●●●●● 

権限 *
Administrator ▼

アクセストークン
作成しない ▼

☒ 次回ログイン時にパスワードを変更する

キャンセル

OK

3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

The image shows a '新規ユーザー作成' (New User Creation) dialog box. It contains fields for 'ユーザーID' (User ID) with the value 'SampleUser001', '新しいパスワード' (New Password), '確認用パスワード' (Confirmation Password), '権限' (Authority) set to 'Admin', and 'アクセストークン' (Access Token) set to '作成する' (Create). There is a checkbox for '次回ログイン時にパスワードを変更する' (Change password at next login). A white confirmation dialog box is overlaid in the center, titled '確認' (Confirmation), with the text 'ユーザーを追加します。よろしいですか？' (Add user. Is it okay?). It has 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons, with the 'OK' button highlighted by a red rectangle.

4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

The image shows a 'メッセージ' (Message) dialog box. It contains the text 'ユーザーを追加しました' (User added). There is an 'OK' button at the bottom right, which is highlighted by a red rectangle.

5. ユーザーが追加されたことを確認します。

ユーザー管理

operating

Operating

DXCadmin
Administrator

Japan - 日本語

ユーザー一覧

現在のユーザー数: 5名 (上限100名)

+ ユーザーを作成

ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作
DXCadmin	Administrator	有効	2025/07/16 18:41	-	変更 削除
de1	Designer	有効	-		変更 削除
ma1	Maintainer	有効	-	-	変更 削除
admin	Administrator	有効	-		変更 削除
SampleUser001	Administrator	有効	-		変更 削除

3.7.3 ユーザー情報の変更

次の手順で、ユーザーを変更することができます。

1. ユーザー一覧に表示されているユーザーの「変更」ボタンを押下します。

ユーザー管理

operating

Operating

DXCadmin
Administrator

Japan - 日本語

ユーザー一覧

現在のユーザー数: 5名 (上限100名)

+ ユーザーを作成

ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作
DXCadmin	Administrator	有効	2025/07/16 18:41	-	変更 削除
de1	Designer	有効	-		変更 削除
ma1	Maintainer	有効	-	-	変更 削除
admin	Administrator	有効	-		変更 削除
SampleUser001	Administrator	有効	-		変更 削除

2. 表示されるユーザー編集ダイアログにて変更したい以下の項目を入力します。

※この例では権限を「Administrator」から「Designer」へ変更します。

入力完了後は「OK」ボタンを押下します。

項目	説明
新しいパスワード	ログイン時に入力するパスワードです。
確認用パスワード	ログイン時に入力するパスワードの確認用入力項目です。
権限	下表を参照
アクセストークン	アクセストークンの作成、更新、削除を選択します。
次回ログイン時にパスワードを変更する	次回ログイン時に強制的にパスワードを変更させるための入力項目です。

ユーザーの権限は3種類あります。

権限	説明
Administrator	すべての操作が可能です。初期ユーザー"admin"に付与されており、1人以上必須です。
Designer	ユーザー管理、ファームウェア管理以外の操作が可能です。
Maintainer	モニタリング、アプリケーション管理、一部のユーティリティ管理が可能です。

ユーザー編集

✕

ユーザーID *

SampleUser001

新しいパスワード *

●●●●●●

👁

確認用パスワード *

●●●●●●

👁

権限 *

Designer

▼

アクセストークン

変更しない

▼

☒ 次回ログイン時にパスワードを変更する

キャンセル

OK

3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

The image shows a 'ユーザー編集' (User Edit) dialog box. It contains fields for 'ユーザーID' (User ID) with the value 'SampleUser001', '新しいパスワード' (New Password) with masked characters, '確認用パスワード' (Confirmation Password) with masked characters, '権限' (Authority) set to 'Design', and 'アクセストークン' (Access Token) set to '変更しない' (Do not change). There is a checkbox for '次回ログイン時にパスワードを変更する' (Change password at next login) which is checked. At the bottom right, there are 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons. A white confirmation dialog box is overlaid in the center, titled '確認' (Confirmation), with the text 'ユーザー情報を更新します。よろしいですか？' (Update user information. Is it okay?). It has 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons, with the 'OK' button highlighted by a red rectangle.

4. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

The image shows a 'メッセージ' (Message) dialog box. It contains the text 'ユーザー情報を更新しました' (User information has been updated). At the bottom right, there is an 'OK' button, which is highlighted by a red rectangle.

5. ユーザーの情報が変更されたことを確認します。

ユーザー管理 operating Operating ▼ DXCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

ユーザー一覧 ⓘ 現在のユーザー数: 5名 (上限100名) + ユーザーを作成

ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作
DXCadmin	Administrator	有効 ☐	2025/07/16 18:41	-	変更 削除
de1	Designer	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除
ma1	Maintainer	有効 ☒	-	-	変更 削除
admin	Administrator	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除
SampleUser001	Designer	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除

3.7.4 ユーザー情報の削除

次の手順で、ユーザーを削除することができます。

1. ユーザー一覧に表示されているユーザーの「削除」ボタンを押下します。

※この例では「SampleUser001」を削除します。

ユーザー管理 operating Operating DXCadmin Administrator Japan - 日本語

ユーザー一覧 ⓘ 現在のユーザー数: 5名 (上限100名) + ユーザーを作成

ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作
DXCadmin	Administrator	有効 ☐	2025/07/16 18:41	-	変更 削除
de1	Designer	有効 ☒	-	 👁 📄	変更 削除
ma1	Maintainer	有効 ☒	-	-	変更 削除
admin	Administrator	有効 ☒	-	 👁 📄	変更 削除
SampleUser001	Designer	有効 ☒	-	 👁 📄	変更 削除

2. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

確認 ×

ユーザーを削除します。よろしいですか？

キャンセル OK

3. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

メッセージ ×

ユーザーを削除しました

OK

4. ユーザーが削除されたことを確認します。

ユーザー管理 operating Operating DXCadmin Administrator Japan - 日本語

ユーザー一覧 ⓘ 現在のユーザー数: 4名 (上限100名) + ユーザーを作成

ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作
DXCadmin	Administrator	有効 ☐	2025/07/16 19:55	-	変更 削除
de1	Designer	有効 ☒	-	 👁 📄	変更 削除
ma1	Maintainer	有効 ☒	-	-	変更 削除
admin	Administrator	有効 ☒	-	 👁 📄	変更 削除

3.7.5 ユーザーステータスの変更

次の手順で、ユーザーステータス（有効/無効）を変更することができます。

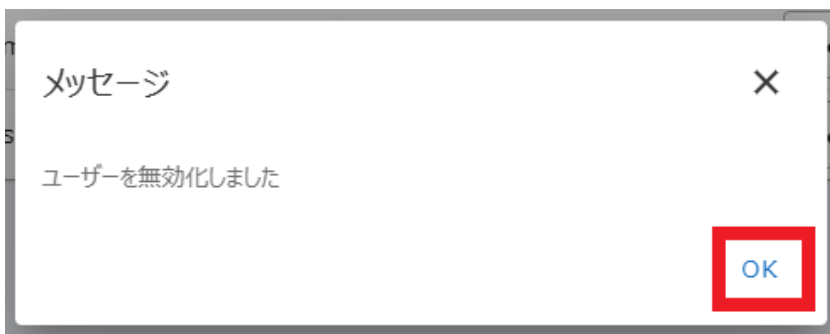
1. ユーザー一覧に表示されているユーザーの「ステータス」トグルスイッチを押下します。
※この例では「有効」から「無効」へ変更します。

ユーザー管理 operating Operating ▼ DXCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

ユーザー一覧 ⓘ 現在のユーザー数: 5名 (上限100名) + ユーザーを作成

ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作
DXCadmin	Administrator	有効 ☐	2025/07/16 18:41	-	変更 削除
de1	Designer	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除
ma1	Maintainer	有効 ☒	-	-	変更 削除
admin	Administrator	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除
SampleUser001	Designer	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除

2. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. ユーザーのステータスが変更されたことを確認します。

ユーザー管理 operating Operating ▼ DXCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

ユーザー一覧 ⓘ 現在のユーザー数: 5名 (上限100名) + ユーザーを作成

ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作
DXCadmin	Administrator	有効 ☐	2025/07/16 18:41	-	変更 削除
de1	Designer	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除
ma1	Maintainer	有効 ☒	-	-	変更 削除
admin	Administrator	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除
SampleUser001	Designer	無効 ☐	-	 👁 📋	変更 削除

3.7.6 アクセストークンについて

新規ユーザー作成ダイアログ、ユーザー編集ダイアログにてアクセストークンを「作成する」を選択した場合、ユーザー作成、変更と同時にアクセストークンも発行されます。

新規ユーザー作成

ユーザーID *

ユーザーID

新しいパスワード *

新しいパスワード

👁

確認用パスワード *

確認用パスワード

👁

権限 *

Administrator

▼

アクセストークン

作成する

▲

作成しない

作成する

キャンセル

OK

発行したアクセストークンは、「REST API」で使用することができます。

ユーザー管理 operating

Operating ▼ DXAdmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

ユーザー一覧 ⓘ 現在のユーザー数: 5名 (上限100名)						+ ユーザーを作成
ユーザーID	権限	ステータス	最終ログイン日時	アクセストークン	操作	
DXCadmin	Administrator	有効 ☐	2025/07/16 18:41	-	変更 削除	
de1	Designer	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除	
ma1	Maintainer	有効 ☒	-	-	変更 削除	
admin	Administrator	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除	
SampleUser001	Designer	有効 ☒	-	 👁 📋	変更 削除	

3.8 システム設定

ここでは、システム設定について説明します。
設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
ネットワーク	当コントローラのネットワーク関連の設定を行います。
日付と時刻	当コントローラのシステム時刻の設定を行います。
ファームウェア	ファームウェアのアップデートを行います。



3.8.1 ネットワーク設定

当コントローラのネットワーク関連の設定を行います。
ネットワークの設定項目は次の通りです。

項目	説明
インターフェース一覧	ネットワークインターフェースの設定値を一覧形式で表示します。
TCP/IPアドレス設定	ネットワークインターフェース単位でIPアドレスの設定を行います。
DNS設定	当コントローラのDNS設定を行います。
mDNS設定	当コントローラのmDNS設定を行います。
プロキシ設定	当コントローラのプロキシの設定を行います。



インターフェース一覧

当コントローラの各ネットワークインターフェースの設定値を一覧形式で表示します。
表示項目については次の通りです。

項目	説明
インターフェース名	物理インターフェース名
ステータス	稼働ステータスを表示
IPv4アドレス	当該インターフェースに設定されているIPアドレス
操作	変更ボタン：押下で当該インターフェースのTCP/IP設定タブへ遷移

インターフェース一覧 operating

Operating ▼ DXAdmin Administrator Japan - 日本語 ▼

インターフェース一覧 TCP/IP設定 DNS設定 mDNS設定 プロキシ設定

インターフェース一覧

インターフェース名	ステータス	IPv4アドレス	操作
eth0	up	192.168.1.100	変更

TCP/IPアドレス設定

ネットワークインターフェースについてIPアドレスの設定を行います。
IPアドレスがDHCPにて自動設定されている場合は設定項目を次の通り表示します。

項目	入力方式	説明
インターフェース	プルダウン	物理インターフェース名のリスト
IP設定方法	ラジオボタン	IPアドレスの設定方法をDHCPか手動設定か選択
IPアドレス	ラベル	当該インターフェースに設定されているIPアドレス
サブネットマスク	ラベル	当該インターフェースに設定されているサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	ラベル	当該インターフェースに設定されているデフォルトゲートウェイ

TCP/IP設定

operating

Operating

DXCadmin
Administrator

Japan - 日本語

インターフェース一覧

TCP/IP設定

DNS設定

mDNS設定

プロキシ設定

インターフェース選択

インターフェース選択
eth0 - 192.168.1.100

TCP/IP設定

☒ DHCPを使用する（自動）

☐ 固定IPを設定する

現在の設定

IPv4アドレス

192.168.1.100 (DHCPから取得)

サブネットマスク

255.255.255.0 (DHCPから取得)

デフォルトゲートウェイ

192.168.1.1 (DHCPから取得)

適用

IPアドレスが手動設定されている場合は設定項目を次の通り表示します。

項目	入力方式	説明
インタフェース	プルダウン	物理インタフェース名のリスト
IP設定方法	ラジオボタン	IPアドレスの設定方法をDHCPか手動設定か選択
IPアドレス	テキスト	当該インタフェースに設定されているIPアドレス
サブネットマスク	テキスト	当該インタフェースに設定されているサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	テキスト	当該インタフェースに設定されているデフォルトゲートウェイ

TCP/IP設定 operating

Operating ▼ DXAdmin Administrator Japan - 日本語 ▼

インターフェース一覧 TCP/IP設定 DNS設定 mDNS設定 プロキシ設定

インターフェース選択

インターフェース選択
eth0 - 192.168.1.100 ▼

TCP/IP設定

☐ DHCPを使用する（自動） ☒ 固定IPを設定する

固定IP設定

IPv4アドレス
192.168.1.100

サブネットマスク
255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ
192.168.1.1

適用

IPアドレス設定方法

次の手順で、対象のインターフェースについてIPアドレスを設定することができます。

 注意

IPアドレスやホスト名を変更した場合、コントローラと通信ができなくなりエラー画面になる場合があります。新しいアドレスで再度アクセスしてください。

1. プルダウンで対象のインタフェースを選択します。

インターフェース選択

インターフェース選択

eth0 - 192.168.1.100

2. IPの設定方法を選択します。

TCP/IP設定

☐ DHCPを使用する（自動）

☒ 固定IPを設定する

固定IP設定

IPv4アドレス

192.168.1.100

サブネットマスク

255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

192.168.1.1

適用

3. 「固定IPを設定」を選択した場合は以下の項目を入力します。

項目	入力方式	説明
IPアドレス	テキスト	当該インタフェースに設定するIPアドレス
サブネットマスク	テキスト	当該インタフェースに設定するサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	テキスト	当該インタフェースに設定するデフォルトゲートウェイ

TCP/IP設定

☐ DHCPを使用する（自動）

☒ 固定IPを設定する

固定IP設定

IPv4アドレス

192.168.1.100

サブネットマスク

255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

192.168.1.1

適用

4. 「適用」ボタンを押下します。

TCP/IP設定

☐ DHCPを使用する（自動） ☒ 固定IPを設定する

固定IP設定

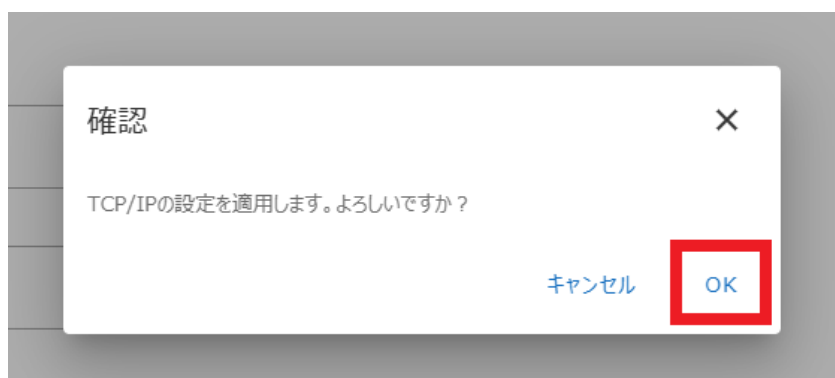
IPv4アドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

適用

5. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



6. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



DNS設定

当コントローラのDNS設定を行います。

DNS設定operating

OperatingDXCadminAdministratorJapan - 日本語

インターフェース一覧TCP/IP設定DNS設定mDNS設定プロキシ設定

DNS設定

DNSサーバ(IPv4アドレス (プライマリ))8.8.8.8

DNSサーバ(IPv4アドレス (セカンダリ))8.8.4.4

適用

DNS設定方法

次の手順で、DNS情報を設定することができます。

1. 「プライマリDNS」へアドレスを入力します。

The screenshot shows the 'DNS設定' (DNS Settings) page in the DXAdmin interface. The 'operating' status is indicated. The page has tabs for 'インターフェース一覧', 'TCP/IP設定', 'DNS設定', 'mDNS設定', and 'プロキシ設定'. The 'DNS設定' tab is active. Under the 'DNS設定' section, there are two input fields: 'DNSサーバー(IPv4アドレス (プライマリ))' and 'DNSサーバー(IPv4アドレス (セカンダリ))'. The primary field contains '8.8.8.8' and is highlighted with a red rectangular box. The secondary field contains '8.8.4.4'. A blue '適用' (Apply) button is located at the bottom right.

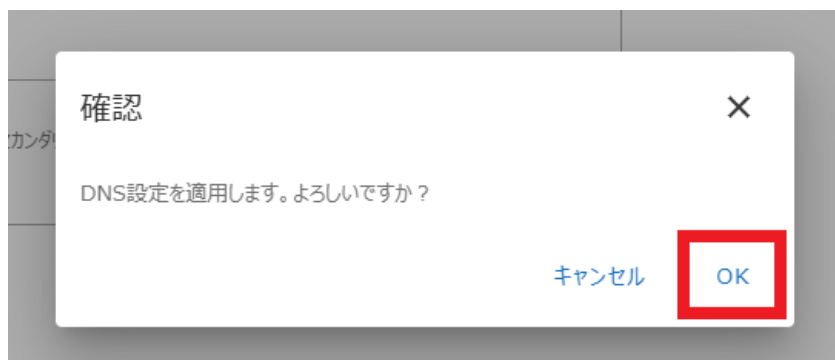
2. 「セカンダリDNS」へアドレスを入力します。

This screenshot is similar to the previous one, showing the 'DNS設定' page. In this step, the 'DNSサーバー(IPv4アドレス (セカンダリ))' field, which contains '8.8.4.4', is highlighted with a red rectangular box. The '適用' (Apply) button remains at the bottom right.

3. 「適用」を押下します。

This screenshot shows the 'DNS設定' page with both input fields containing their respective IP addresses. A red rectangular box highlights the blue '適用' (Apply) button at the bottom right of the page.

4. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



5. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



mDNS設定

当コントローラのmDNS設定を行います。

mDNS設定 operating Operating ▾ DXCadmin Administrator ▾ Japan - 日本語 ▾

インターフェース一覧 TCP/IP設定 DNS設定 **mDNS設定** プロキシ設定

mDNS（ホスト名）設定

mDNSを有効にする
ネットワーク管理者から提供された情報を入力してください。 ☒

mDNS（ホスト名）を入力

ホスト名（mDNS） .local

MDNS設定方法

次の手順で、mDNS情報を設定することができます。

 注意

IPアドレスやホスト名を変更した場合、コントローラと通信ができなくなりエラー画面になる場合があります。新しいアドレスで再度アクセスをしてください。

1. 「mDNSを設定する」トグルスイッチをONにします。

The screenshot shows the 'mDNS設定' (mDNS Settings) page. At the top, there are tabs for 'インターフェース一覧', 'TCP/IP設定', 'DNS設定', 'mDNS設定' (selected), and 'プロキシ設定'. Below the tabs, the 'mDNS (ホスト名) 設定' section contains a toggle switch labeled 'mDNSを有効にする' (Enable mDNS) with the instruction 'ネットワーク管理者から提供された情報を入力してください。' (Enter information provided by the network administrator). The toggle switch is currently turned on and is highlighted with a red rectangle. Below this, the 'mDNS (ホスト名) を入力' (Enter mDNS (hostname)) section has a text input field containing 'test-device' followed by '.local'. A blue '適用' (Apply) button is at the bottom right.

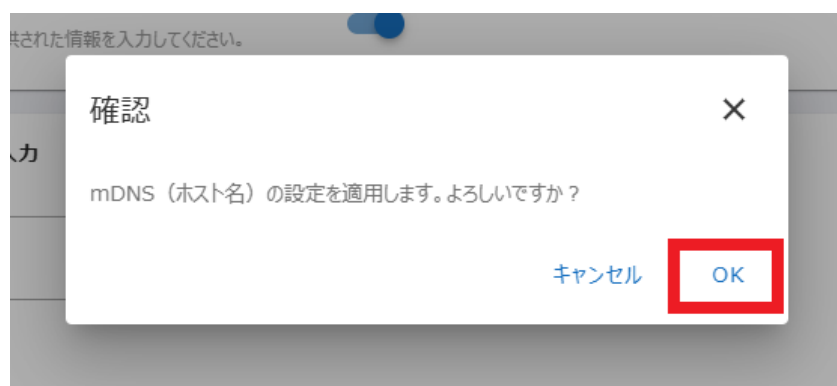
2. 「ホスト名 (mDNS)」にmDNS名を入力します。

This screenshot is identical to the previous one, but the text input field for the mDNS name, which contains 'test-device', is now highlighted with a red rectangle. The toggle switch remains turned on.

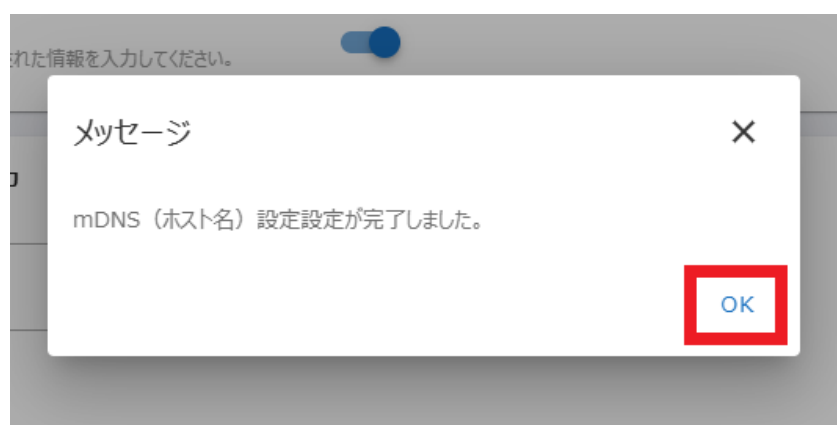
3. 「適用」を押下します。

This screenshot is identical to the previous ones, but the blue '適用' (Apply) button at the bottom right is now highlighted with a red rectangle. The toggle switch remains turned on and the mDNS name 'test-device' is still in the input field.

4. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



5. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



プロキシ設定

当コントローラのプロキシ設定を行います。

プロキシ設定

operating

Operating

DXCadmin
Administrator

Japan - 日本語

インターフェース一覧

TCP/IP設定

DNS設定

mDNS設定

プロキシ設定

プロキシサーバー設定

プロキシサーバーを使用する

ネットワーク管理者から提供された情報を入力してください。

プロキシサーバー設定を入力

プロキシ自動設定(PAC)URL

http://proxy.example.com/config.pac

HTTPプロキシ

http://proxy.example.com:8080

HTTPSプロキシ

https://proxy.example.com:8443

FTPプロキシ

ftp://proxy.example.com:2121

No Proxy設定を入力

プロキシ除外ホスト (カンマ区切り)

localhost,127.0.0.1

プロキシ認証設定

☒ 認証をしない

☐ 認証をする

適用

プロキシ設定方法

次の手順で、プロキシ情報を設定することができます。

1. 「プロキシサーバーを使用する」 トグルスイッチをONにします。

プロキシサーバー設定

プロキシサーバーを使用する

ネットワーク管理者から提供された情報を入力してください。

2. プロキシサーバ設定用に以下の項目を入力します。

項目	入力方式	説明
プロキシ自動設定(PAC)URL	テキスト	自動設定スクリプト用のURL
httpプロキシ	テキスト	http接続用のアドレス
httpsプロキシ	テキスト	https接続用のアドレス
ftpプロキシ	テキスト	ftp接続用のアドレス

プロキシサーバー設定を入力

プロキシ自動設定(PAC)URL

プロキシ自動設定(PAC)URL

HTTPプロキシ

HTTPプロキシ

HTTPSプロキシ

HTTPSプロキシ

FTPプロキシ

FTPプロキシ

3. No Proxy設定を行いたい場合は「プロキシ除外ホスト」にアドレスを入力します。

No Proxy設定を入力

プロキシ除外ホスト (カンマ区切り)

プロキシ除外ホスト (カンマ区切り)

4. プロキシ認証の有無を選択します。

プロキシ認証設定

認証をしない

認証をする

認証情報を設定する場合は「認証情報を入力」をクリックしてください。

認証情報を入力

プロキシ認証ユーザー:

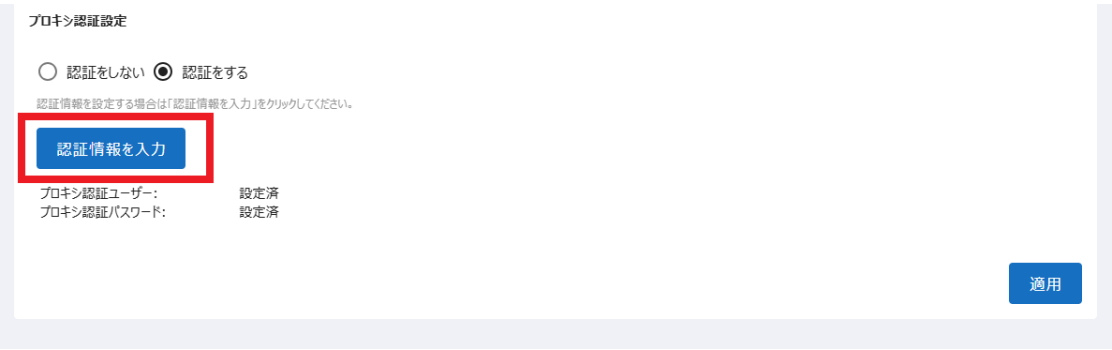
設定済

プロキシ認証パスワード:

設定済

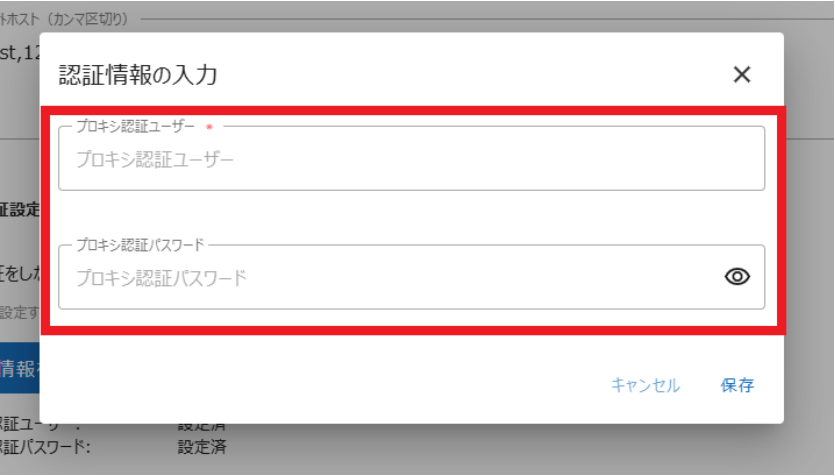
適用

5. 「認証をする」を選択した場合は「認証情報を入力」ボタンを押下します。



6. 表示された認証情報入力ダイアログにて以下の項目を入力します。

項目	入力方式	説明
プロキシ認証ユーザー	テキスト	プロキシサーバー接続用のユーザーID
プロキシ認証パスワード	テキスト	プロキシサーバー接続用のパスワード



7. ダイアログ内の「保存」を押下します。



8. 「適用」を押下します。

プロキシ設定 operating Operating DXCadmin Administrator Japan - 日本語

インターフェース一覧 TCP/IP設定 DNS設定 mDNS設定 **プロキシ設定**

プロキシサーバー設定

プロキシサーバーを使用する ☒ ネットワーク管理者から提供された情報を入力してください。

プロキシサーバー設定を入力

プロキシ自動設定(PAC)URL
http://proxy.example.com/config.pac

HTTPプロキシ
http://proxy.example.com:8080

HTTPSプロキシ
https://proxy.example.com:8443

FTPプロキシ
ftp://proxy.example.com:2121

No Proxy設定を入力

プロキシ除外ホスト (カンマ区切り)
localhost,127.0.0.1

プロキシ認証設定

☐ 認証をしない ☒ 認証をする
認証情報を設定する場合は「認証情報を入力」をクリックしてください。

認証情報を入力

プロキシ認証ユーザー: 設定済
プロキシ認証パスワード: 設定済

適用

9. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



10. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3.8.2 時刻設定

当コントローラのシステム時刻の設定を行います。
システム時刻の設定項目は、次の通りです。

項目	入力方式	説明
タイムゾーン	プルダウン	設定タイムゾーンをリストにて表示
NTP利用設定	ラジオボタン	時刻設定をNTP同期するか手動設定か選択
日時	テキストボックス	手動設定時は設定する日時を入力
NTPサーバー1	テキスト	NTP利用時は利用するNTPサーバー情報を直接入力
NTPサーバー2	テキスト	NTP利用時は利用するNTPサーバー情報を直接入力（Optional）

日付と時刻

operating

operating

DFCadminAdministrator

Japan - 日本語

システム時刻設定

タイムゾーン

日本標準時 (UTC+09:00)

☒ NTPサーバーと同期

☐ 手動で時刻設定

日時

06/14/2025 02:30:00 PM

NTPサーバーアドレス (プライマリ)

ntp.example.com

NTPサーバーアドレス (セカンダリ)

ntp2.example.com

適用

時刻設定方法

次の手順で、システム時刻を設定することができます。

1. システム時刻設定欄の「タイムゾーン」にて任意のタイムゾーンを選択します。

日付と時刻 operating operating ▼ DFCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

システム時刻設定

タイムゾーン *
 日本標準時 (UTC+09:00) ▼

☒ NTPサーバーと同期 ☐ 手動で時刻設定

日時 *
 06/14/2025 02:30:00 PM

NTPサーバーアドレス (プライマリ) *
 ntp.example.com

NTPサーバーアドレス (セカンダリ)
 ntp2.example.com

適用

2. ラジオボタンにて「NTPサーバーと同期」、「手動で時刻設定」のいずれかを選択します。

日付と時刻 operating operating ▼ DFCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

システム時刻設定

タイムゾーン *
 日本標準時 (UTC+09:00) ▼

☒ NTPサーバーと同期 ☐ 手動で時刻設定

日時 *
 06/14/2025 02:30:00 PM

NTPサーバーアドレス (プライマリ) *
 ntp.example.com

NTPサーバーアドレス (セカンダリ)
 ntp2.example.com

適用

3. ラジオボタンにて「NTPサーバーと同期」を選択した場合、「NTPサーバ」にNTPサーバーのURL情報を一つ以上入力します。

日付と時刻 operating operating ▼ DFCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

システム時刻設定

タイムゾーン *
 日本標準時 (UTC+09:00) ▼

☒ NTPサーバーと同期 ☐ 手動で時刻設定

日時 *
 06/14/2025 02:30:00 PM

NTPサーバーアドレス (プライマリ) *
 ntp.example.com

NTPサーバーアドレス (セカンダリ)
 ntp2.example.com

適用

4. ラジオボタンにて「手動で時刻設定」を選択した場合、「日時」にシステム時刻を入力します。

日付と時刻 operating operating ▼ DFCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

システム時刻設定

タイムゾーン *
 日本標準時 (UTC+09:00) ▼

☐ NTPサーバーと同期 ☒ 手動で時刻設定

日時 *
 06/14/2025 02:30:00 PM 📅

NTPサーバーアドレス (プライマリ) *
 ntp.example.com

NTPサーバーアドレス (セカンダリ)
 ntp2.example.com

適用

5. 「適用」 ボタンを押下します。

日付と時刻 operating operating ▼ DFCadmin Administrator ▼ Japan - 日本語 ▼

システム時刻設定

タイムゾーン *
 日本標準時 (UTC+09:00) ▼

☒ NTPサーバーと同期 ☐ 手動で時刻設定

日時 *
 06/14/2025 02:30:00 PM

NTPサーバーアドレス (プライマリ) *
 ntp.example.com

NTPサーバーアドレス (セカンダリ)
 ntp2.example.com

適用

6. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

☐ NTPサーバーと同期 ☒ 手動で時刻設定

日時 *
 06/14/2025

NTPサーバーアドレス
 ntp.example

NTPサーバーアドレス (セカンダリ)
 ntp2.example.com

確認 ✕

日付と時刻の設定を保存します。
よろしいですか？

キャンセル **OK**

7. メッセージダイアログで、「OK」ボタンを押下します。

☐ NTPサーバーと同期 ☒ 手動で時刻設定

日時 *
 06/14/2025

NTPサーバーアドレス
 ntp.example

NTPサーバーアドレス (セカンダリ)
 ntp2.example.com

メッセージ ✕

日付と時刻の設定が完了しました。

OK

3.8.3 ファームウェア管理

当コントローラのファームウェアアップデート管理を行います。

アップデート

setup

setup ▼

DFCadmin
Administrator ▼

Japan - 日本語 ▼

アップデート情報

現在のバージョン	アップデートバージョン	操作
1.0.0	0.4.2	アップデートを開始する

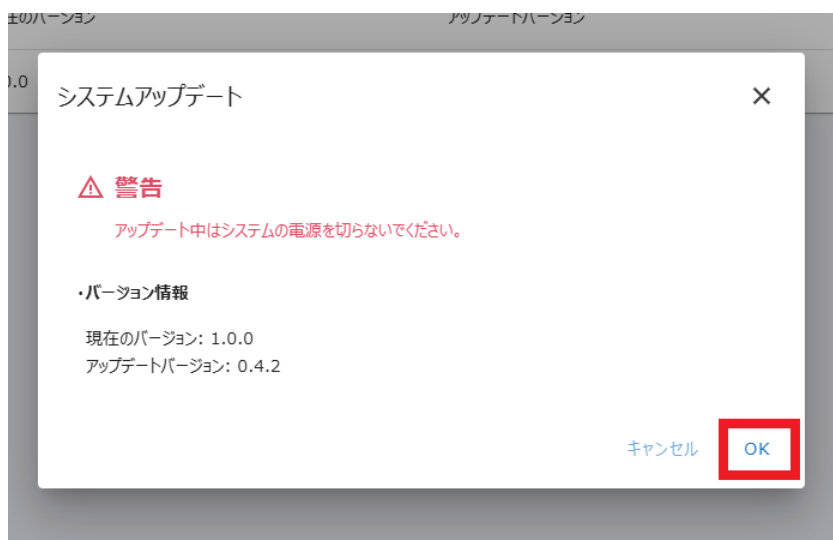
ファームウェアアップデート方法

次の手順で、ファームウェアのアップデートができます。

1. 対象のバンドルバージョンの「アップデートを開始する」ボタンを押下します。
※この例では「v0.4.2」のバージョンへアップデートを実施します。



2. 表示されたシステムアップデートダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



3. アップデート処理を実行します。アップデートの完了まで待機します。



4. ダイアログに表示されているメッセージを確認の上、コントローラの電源をOFFにします。



3.9 システム情報

ここでは、システム情報について説明します。
表示項目は次の通りです。

項目	説明
製品マニュアル	コントローラWeb UIの操作マニュアルのリンクを表示します。
生産情報	コントローラの生産情報を表示します。
システム情報	コントローラのシステム情報を表示します。
ライセンス	コントローラが利用しているOSS情報を表示します。

システム情報

operating

operating ▼

DFCadmin
Administrator ▼

Japan - 日本語 ▼

製品マニュアル

[マニュアルを開発する](#)

[マニュアル動画を閲覧する](#)

生産情報

形式	DX100-0010
生産工場	K01
ロットNo	14725
シリアルNo	0010
ハードウェアバージョン	/A

システム情報

ユニットバージョン	1.0.0
累計稼働時間	3820分
連続稼働時間	69分
ホスト名	dx1
アーキテクチャ	ARM64
ネットワークインターフェース	eth0 (00-00-0A-B1-9E-4E) eth1 (00-00-0A-B1-9E-4F)

ライセンス

@babel/helper-string-parser@7.25.0 - The Babel Team (MIT)
<https://github.com/babel/babel>

@babel/helper-validator-identifier@7.25.9 - The Babel Team (MIT)
<https://github.com/babel/babel>

@babel/parser@7.27.0 - The Babel Team (MIT)
<https://github.com/babel/babel>

@babel/types@7.27.0 - The Babel Team (MIT)
<https://github.com/babel/babel>

@esbuild/linux-arm64@0.25.2 (MIT)
<https://github.com/evanw/esbuild>

@eslint-community/eslint-utils@4.5.1 - Toru Nagashima (MIT)
<https://github.com/eslint-community/eslint-utils>

@eslint-community/eslint-utils@4.7.0 - Toru Nagashima (MIT)
<https://github.com/eslint-community/eslint-utils>

@eslint-community/regexpp@4.12.1 - Toru Nagashima (MIT)
<https://github.com/mysticatea/regexpp>

RAUC - RAUC (LGPL-2.1)
<https://github.com/rauc/rauc>

3.9.1 製品マニュアル

Web UIの操作マニュアルへのリンクを表示します。
リンクをクリックすることで、別タブでマニュアルが表示されます。

製品マニュアル

[マニュアルを開発する](#)

[マニュアル動画を閲覧する](#)

3.9.2 生産情報

生産情報表示エリアでは以下の項目を表示します。

項目
形式
生産工場
ロットNo.
シリアルNo.
ハードウェアバージョン

生産情報	
形式	DX100-0010
生産工場	K01
ロットNo	14725
シリアルNo	0010
ハードウェアバージョン	/A

3.9.3 システム情報

システム情報表示エリアでは以下の項目を表示します。

項目	説明
ユニットバージョン	コントローラのユニットバージョンを表示します。
累積稼働時間	コントローラの累積稼働時間を表示します。
連続稼働時間	コントローラの連続稼働時間を表示します。
ホスト名	コントローラのホスト名を表示します。
アーキテクチャ	コントローラに搭載されているCPUアーキテクチャを表示します。
ネットワークインターフェース	コントローラのインターフェース名を表示します。

システム情報	
ユニットバージョン	1.0.0
累計稼働時間	3820分
連続稼働時間	69分
ホスト名	dx1
アーキテクチャ	ARM64
ネットワークインターフェース	eth0 (00-00-0A-B1-9E-4E) eth1 (00-00-0A-B1-9E-4F)

3.9.4 ライセンス

ライセンス表示エリアではコントローラが利用しているOSS情報を表示します。

ライセンス

@babel/helper-string-parser@7.25.9 - The Babel Team (MIT)
<https://github.com/babel/babel>

@babel/helper-validator-identifier@7.25.9 - The Babel Team (MIT)
<https://github.com/babel/babel>

@babel/parser@7.27.0 - The Babel Team (MIT)
<https://github.com/babel/babel>

@babel/types@7.27.0 - The Babel Team (MIT)
<https://github.com/babel/babel>

@esbuild/linux-arm64@0.25.2 (MIT)
<https://github.com/evanw/esbuild>

@eslint-community/eslint-utils@4.5.1 - Toru Nagashima (MIT)
<https://github.com/eslint-community/eslint-utils>

@eslint-community/eslint-utils@4.7.0 - Toru Nagashima (MIT)
<https://github.com/eslint-community/eslint-utils>

@eslint-community/regexpp@4.12.1 - Toru Nagashima (MIT)
<https://github.com/uyetj/core>

RAUC - RAUC (LGPL-2.1)
<https://github.com/rauc/rauc>

3.10 シャットダウン管理

ここでは、シャットダウン管理について説明します。

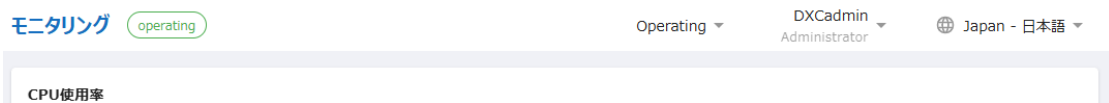
3.10.1 シャットダウン

当コントローラのシステムシャットダウンを行います。

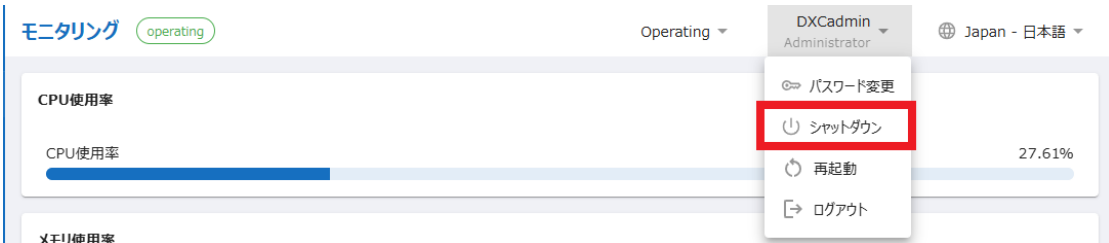
シャットダウン操作方法

次の手順で、コントローラのシャットダウンを行います。

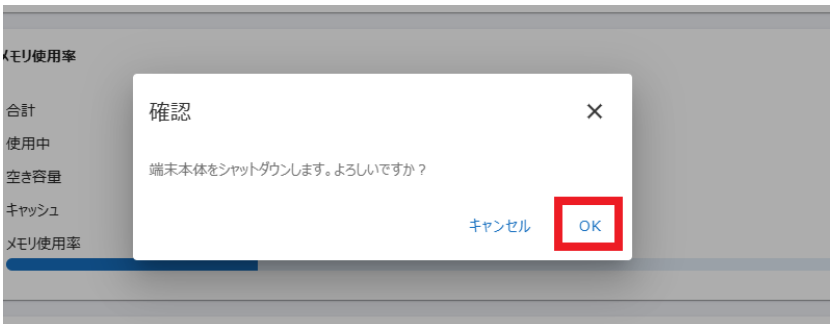
1. ヘッダーの右部に表示されているユーザー名を押下します。



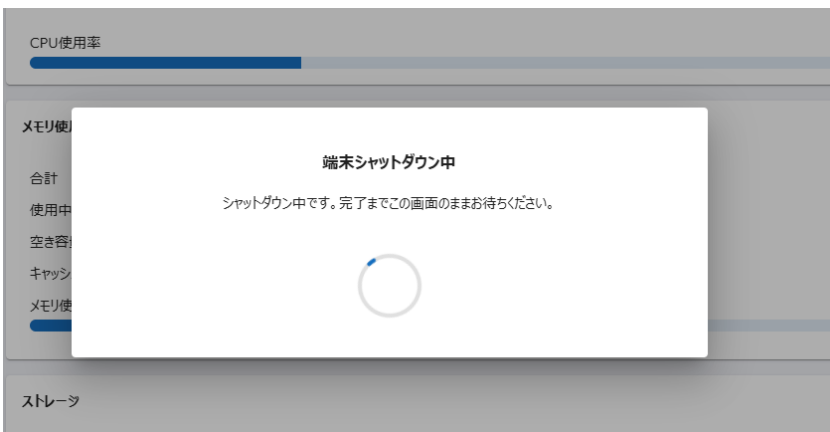
2. リスト表示された項目より「シャットダウン」を押下します。



3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



4. シャットダウン完了まで待機します。



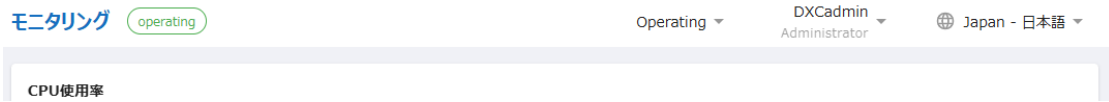
3.10.2 再起動

当コントローラのシステム再起動を行います。

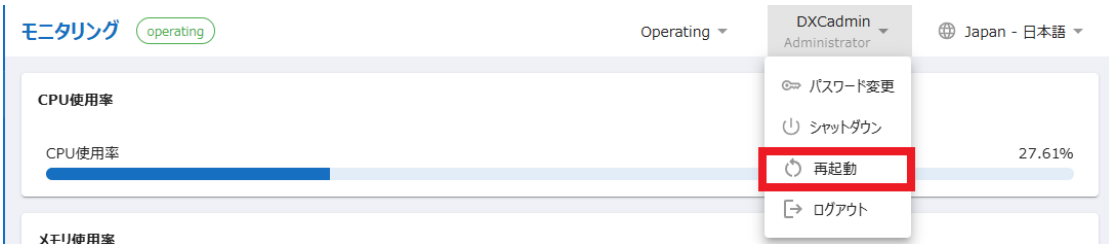
再起動操作方法

次の手順で、コントローラ再起動を行います。

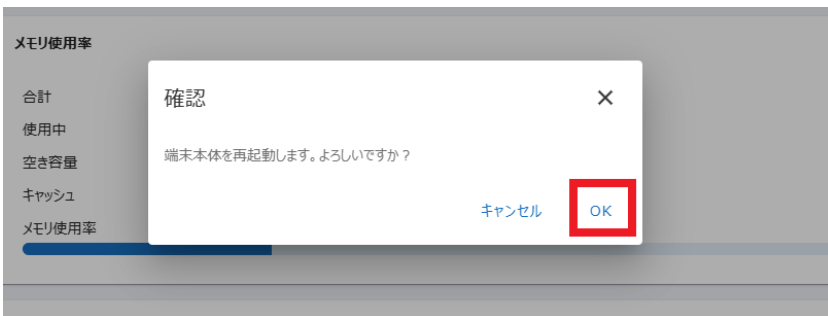
1. ヘッダーの右部に表示されているユーザー名を押下します。



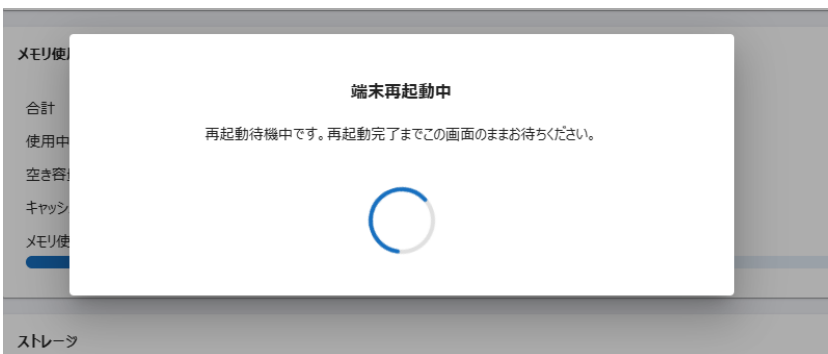
2. リスト表示された項目より「再起動」を押下します。



3. 確認ダイアログで、「OK」ボタンを押下します。



4. 再起動完了まで待機します。



3.11 REST API

3.11.1 APIの概要

データフローコントローラの一部の操作は、APIによって外部から行うことができます。

3.11.2 APIの実行方法

ここでは例として、curlコマンドによってAPIを実行する方法を記載します。
curlがインストールされていない場合、curlの公式サイトからcurlをダウンロードして、ご利用中のマシンへcurlをインストールして下さい。

1. curlコマンドを実行する環境を開きます。Linuxの場合はターミナルを、Windowsの場合はコマンドプロンプトを開きます。
2. 「API仕様」の各APIの「curlコマンドによるリクエスト」をコピーし、curlコマンドを実行する環境にペーストします。
※「curlコマンドによるリクエスト」の一部は、置き換える必要があります。詳細は、「共通事項」をご覧ください。
3. Enterキーを押下するとAPIが実行され、レスポンスが表示されます。
レスポンスの詳細は、「API仕様」の各APIの「レスポンス」をご覧ください。

「API仕様」の各APIの「curlコマンドによるリクエスト」では、次の項目が指定されています。
curlコマンド以外の方法でAPIを実行する場合は、同じ項目を指定する必要があります。

項目	説明
HTTPメソッド	-X "~~~"という形で指定されています。
リクエストURL	"http://<データフローコントローラのホスト・ポート>"で始まるURLです。
HTTPヘッダ	-H "~~~"という形で指定されています。
PUTメソッド、POSTメソッドで送信するデータ	-d "~~~"という形で指定されています。

3.11.3 API仕様

APIによって行うことができる操作の一覧について、その概要・リクエスト方法・レスポンスを掲載します。API仕様を理解し、各種プログラムから同一のリクエストを送信することで、各種プログラミング言語からの利用や制御プログラムとの連携が可能となります。

詳細なAPI仕様のドキュメントは、API Interfaceを参照してください。

共通事項

次の一覧は、以降のリクエスト例に掲載されている内容について、共通となる事項です。

- <データフローコントローラのホスト:ポート>は、データフローコントローラが稼働しているホスト・ポートに置き換えてください。
- <アクセストークン>は、「アクセストークンについて」で発行したアクセストークンに置き換えてください。
- リバースプロキシを設定している場合はhttpsにてアクセスしてください。

本体情報取得

- 概要
データフローコントローラの本体状態を取得します。
- リクエストURL

```
http://<データフローコントローラのホスト:ポート>/api/v1/fwGetStatus
```

- curlコマンドによるリクエスト

Linux	Windows
-------	---------

```
$ curl -X "GET" "http://<Data Flow Controllerのホスト:ポート>/api/v1/fwGetStatus" -H "accept: application/json" -H "X-API-Token: <アクセストークン>"
$ curl.exe -X "GET" "http://<Data Flow Controllerのホスト:ポート>/api/v1/fwGetStatus" -H "accept: application/json" -H "X-API-Token: <アクセストークン>"
```

- レスポンス

コード	説明
200	正常 (OK)
400	リクエストエラー (Bad Request)
401	認証エラー (Unauthorized)
403	認証エラー (Forbidden)
404	非存在エラー (Not Found)
409	リクエスト競合 (Conflict)
429	リクエスト数超過 (Too Many Requests)
500	サーバーエラー (Internal Server Error)
503	サービス利用不可 (Service Unavailable)

正常レスポンスは、以下の形式です。

```
{
  "success": "完了フラグ(boolean値)",
  "data": {
    "state": "データフローコントローラの本体状態",
    "abnormalState": "データフローコントローラの本体異常状態",
    "activated": "アクティベーションの状態(boolean値)",
    "restartRequired": "再起動要否フラグ(boolean値)",
  }
}
```

本体情報更新

- 概要

データフローコントローラの本体状態を更新します。

- リクエストURL

```
http://<データフローコントローラのホスト:ポート>/api/v1/fwSetStatus
```

- curlコマンドによるリクエスト

Linux	Windows
-------	---------

```
$ curl -X "POST" "http://<Data Flow Controllerのホスト:ポート>/api/v1/fwSetStatus" -H "accept: application/json" -H "X-API-Token: <アクセストークン>" -d '{"state_code": [<本体状態コード>]}'
$ curl.exe -X "POST" "http://<Data Flow Controllerのホスト:ポート>/api/v1/fwSetStatus" -H "accept: application/json" -H "X-API-Token: <アクセストークン>" -d '{"state_code": [<本体状態コード>]}'
```

レスポンス

コード	説明
200	正常 (OK)
400	リクエストエラー (Bad Request)
401	認証エラー (Unauthorized)
403	認証エラー (Forbidden)
404	非存在エラー (Not Found)
409	リクエスト競合 (Conflict)
429	リクエスト数超過 (Too Many Requests)
500	サーバーエラー (Internal Server Error)
503	サービス利用不可 (Service Unavailable)

正常レスポンスは、以下の形式です。

```
{
  "success": "完了フラグ(boolean値)",
  "data": {}
}
```

シャットダウン

概要

データフローコントローラのシャットダウン要求を送信します。

リクエストURL

```
http://<データフローコントローラのホスト:ポート>/<サブパス>/api/v1/shutdownStart
```

curlコマンドによるリクエスト

Linux	Windows
<pre>\$ curl -X "POST" "http://<Data Flow Controllerのホスト:ポート>/api/v1/shutdownStart" -H "accept: application/json" -H "X-API-Token: <アクセストークン>"</pre>	<pre>\$ curl.exe -X "POST" "http://<Data Flow Controllerのホスト:ポート>/api/v1/shutdownStart" -H "accept: application/json" -H "X-API-Token: <アクセストークン>"</pre>

レスポンス

コード	説明
200	正常 (OK)
400	リクエストエラー (Bad Request)
401	認証エラー (Unauthorized)
403	認証エラー (Forbidden)
404	非存在エラー (Not Found)
409	リクエスト競合 (Conflict)
429	リクエスト数超過 (Too Many Requests)
500	サーバーエラー (Internal Server Error)
503	サービス利用不可 (Service Unavailable)

正常レスポンスは、以下の形式です。

```
{
  "success": "完了フラグ(boolean値)",
  "data": {}
}
```

再起動

概要

データフローコントローラの再起動要求を送信します。

リクエストURL

```
http://<データフローコントローラのホスト:ポート>/<サブパス>/api/v1/rebootStart
```

curlコマンドによるリクエスト

Linux	Windows
<pre>\$ curl -X "POST" "http://<Data Flow Controllerのホスト:ポート>/api/v1/rebootStart" -H "accept: application/json" -H "X-API-Token: <アクセストークン>"</pre>	<pre>\$ curl.exe -X "POST" "http://<Data Flow Controllerのホスト:ポート>/api/v1/rebootStart" -H "accept: application/json" -H "X-API-Token: <アクセストークン>"</pre>

• レスポンス

コード	説明
200	正常 (OK)
400	リクエストエラー (Bad Request)
401	認証エラー (Unauthorized)
403	認証エラー (Forbidden)
404	非存在エラー (Not Found)
409	リクエスト競合 (Conflict)
429	リクエスト数超過 (Too Many Requests)
500	サーバーエラー (Internal Server Error)
503	サービス利用不可 (Service Unavailable)

正常レスポンスは、以下の形式です。

```
{
  "success": "完了フラグ(boolean値)",
  "data": {}
}
```

4. セキュア利用ガイド

本章では、データフローコントローラのセキュアな利用方法について説明します。

4.1 ユーザーの管理

セキュリティ水準を高めるための、ユーザー管理の運用方法について説明します。

adminユーザーの無効化

adminユーザーは、データフローコントローラに標準で登録されているユーザーです。このユーザーにはすべての権限が与えられています。不正なアクセスでの悪用を防ぐため、必要な場合を除いて無効化することを推奨します。無効化する場合は、別でシステム管理者権限のユーザーを追加している必要があります。

ユーザーを無効にする方法については、「[アカウント管理](#)」をご覧ください。

強固なパスワードポリシー

ユーザーに登録するパスワードは、強固なものにするのが望ましいです。以下は、強固なパスワードポリシーの例となります。パスワードを自動生成するツールを使用する際は、以下の条件に当てはまるように生成することを推奨します。

- 長さが8文字以上であること
- 英字の大文字と小文字、数字、記号がそれぞれ1つ以上使用されていること
- 他のアカウントのパスワードとは異なること
- 名前などの個人情報からは推測できないこと
- 英単語などをそのまま使用していないこと
- 類推しやすい並び方やその安易な組合せにしないこと

4.2 トークンの厳重管理

[アクセストークン](#)は、外部からデータフローコントローラにアクセスする際の、リソースへのアクセス権を示すものです。不正な攻撃者によってアクセストークンが悪用されると、データフローコントローラのリソースに不正にアクセスされる恐れがあります。アクセストークンが第三者の手に渡ることがないように、厳重に管理しておくことを推奨します。

5. 付録

- API Interface

Data Flow Controller API仕様 (1.0.0)

System

ファームウェア状態を取得

全権限で実行可能です

HEADER PARAMETERS

→ X-API-Token	string
required	Example: <code>your-token-here</code>
	API認証トークン

Responses

✓ 200 OK

RESPONSE SCHEMA: application/json

└ success	boolean
└ data >	object

— 400 Bad Request

— 401 Unauthorized

— 403 Forbidden

— 404 Not Found

— 409 Conflict

— 429 Too Many Requests

— 500 Internal Server Error

— 503 Service Unavailable

GET /fwGetStatus

Response samples

200

Content type

application/json

Copy Expand all Collapse all

```
{
  "success": true,
  "data": {
    "state": "string",
    "abnormalState": "string",
    "activated": true,
    "restartRequired": true
  }
}
```

ファームウェア状態を更新

全権限で実行可能です

HEADER PARAMETERS

X-API-Token
required

string

Example: `your-token-here`

API認証トークン

REQUEST BODY SCHEMA: application/json
required

state string
required Enum: "operating" "setup"
ファームウェア状態

Responses

200 OK

RESPONSE SCHEMA: application/json

success boolean
data object

400 Bad Request

401 Unauthorized

403 Forbidden

404 Not Found

409 Conflict

429 Too Many Requests

500 Internal Server Error

503 Service Unavailable

POST /fwSetStatus

Request samples

Payload

Content type

application/json

Copy

```
{
  "state": "operating"
}
```

Response samples

200

Content type

application/json

Copy Expand all Collapse all

```
{
  "success": true,
  "data": { }
}
```

システムのシャットダウン

全権限で実行可能です

HEADER PARAMETERS

→ X-API-Token string
required Example: `your-token-here`
API認証トークン

Responses

✓ 200 OK

RESPONSE SCHEMA: application/json

└ success boolean

data

object

— 400 Bad Request

— 401 Unauthorized

— 403 Forbidden

— 404 Not Found

— 409 Conflict

— 429 Too Many Requests

— 500 Internal Server Error

— 503 Service Unavailable

POST /shutdownStart



Response samples

200

Content type
application/json

Copy Expand all Collapse all

```
{
  "success": true,
  "data": { }
}
```

システムの再起動

全権限で実行可能です

HEADER PARAMETERS

→ X-API-Token
required

string

Example: `your-token-here`

API認証トークン

Responses

✓ 200 OK

RESPONSE SCHEMA: application/json

→ success	boolean
→ data	object

→ 400 Bad Request

→ 401 Unauthorized

→ 403 Forbidden

→ 404 Not Found

→ 409 Conflict

→ 429 Too Many Requests

→ 500 Internal Server Error

→ 503 Service Unavailable

POST /rebootStart

Response samples

200

Content type
application/json

Copy Expand all Collapse all

```
{  
  "success": true,  
  "data": { }  
}
```


オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先（DX シリーズ専用）

お客様
相談室

✉ メールでのお問い合わせ（お問い合わせフォーム）

<https://www.fa.omron.co.jp/dx1/contact/>

対応時間：9:00～17:00（土・日・12/31～1/3を除く）



マニュアル動画

<https://www.fa.omron.co.jp/dx1/video-manual/ja/>



その他のお問い合わせ：納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。



オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。緊急時のご購入にもご利用ください。 **www.fa.omron.co.jp**

- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物（又は技術）に該当するものを輸出（又は非居住者に提供）する場合は同法に基づく輸出許可、承認（又は役務取引許可）が必要です。

オムロン商品のご用命は